

外交夜話・アラファ
トと私・内田勝久

カナダのワーホリ
経験を生かして
地方新聞編集長
へ・小倉一毅



バンクーバー・モダン
クラブの佐々木
晴子さん

中国医学入門・
後藤順子

イノクチ・バイオリン・
五島宏治

マイゴルフ・藤井勇

4ドル

カナダのライフスタイル誌・第33号・2001年冬

SHUTTLES LAUNCHED: 100
SATELLITES LAUNCHED: 456
ROCKETS LAUNCHED: 1



THE 20TH ANNIVERSARY NISSAN MAXIMA. *Back in 1981, we decided to turn the automotive world on its collective ear. We put the legendary 280Z engine into a sedan and created the "four-door sports car," a.k.a. the Maxima. Now, twenty years later, we're celebrating the anniversary of this inspired automotive fusion with the 20th Anniversary Edition. Like its predecessor, it still boasts the same spirit, with a cutting edge, award-winning V6, launched in an equally amazing package. From its 227-HP and sport-tuned suspension to the 17" alloy wheels and drilled metal pedals, the 20th Anniversary Edition is worthy of celebration. To find out what's inside and out, click www.4doorsportscar.com. The 2001 Nissan Maxima, it's one anniversary that will be impossible to forget. **CARS LIKE IT: 0***



DRIVEN.

Professional driver. Closed course. DRIVEN and the Nissan logo are Nissan trademarks.



冬のイベント・カレンダー		2
「某月某日」ある北米人の生き方	半田宏治	5
見たり聴いたり試したり		6
「外交夜話」アラファトのガザ凱旋	内田勝久	8
「根こじせられし木」21世紀を迎えるにあたっての感慨		
	太田雄三	10
「表紙の言葉」	日塔富夫	11
「ワーホリ経験を生かして地方紙編集長へ」	小倉一毅	12
「マイ・ゴルフ」醍醐味はバット	藤井 勇	14
「名前の散歩道」浅見家の人々	月華麗	15
「インターネットで散歩」	コタツ・ネコ	16
「カナダ往還」蟻と観察者	足立誠之	18
「東京裏通信」国勢調査員になってみた	尼子三矢子	21
「バイオリン作りひとすじ」イノクチ・バイオリン	五島宏治	22
「バンクーバー、モダンクラブの佐々木晴子さん」		25
「子供と感動・魔法の世界」J・K・ローリング	雄	26
「秋のお茶会」		28
「現代デザインと伝統文化」田中一光ポスター展	山本 博	28
中国伝統医学入門「自然と共に生きる知恵」	後藤順子	30
「インサイド/アウトサイド」	高中公男	32
「サカナ通信」冬の味覚、牡蠣・アンコウ、春先は貝	秋山太郎	33
ゴルフ小説『オクイさん』(下)	小野正治	34
「本の紹介」旅路の果て・映画で読む20世紀	梶原由佳	39
編集室から		40

1部 4ドル

表紙 日塔富夫 デザイン 山本博・野尻佳子

Events Calendar



トロント

■アート

▽「ユージン・アートジェーバリ遍歴」

二月二八日ー五月二七日

アートギャラリー・オブ・オンタリオ
ユージン・アートジェーバリによる二十余年に
わたる十六世紀から十九世紀のパ
リの建造物百八十点の写真展。

カーナバレ美術館主催のバリ、ニ
ューヨーク、トロント巡回展の一環。

▽「トレジャラー・オブ・ジャパンア ート」

ー四月まで

ロイヤル・オンタリオ博物館
同館の日本美術担当者として功績
のあった故ヒュー・ワイリー博士を

記念した展示。浮世絵五十点など
が見られる。

(問) 416-586-8000

■コンサート

▽「トロント・シンフォニー・オーケスト ラ(TSO)・ムービーマジック」

二月一九日ー二二日

ロイ・トンブソン・ホール
エリック・クンゼル指揮、マイケル
チエルトクをゲストピアノリストに迎
えて、「フラッシュダンス」、「スターウ
ォーズ」等、おなじみの映画からの
曲を演奏。入場料二五ドルから。

(問) 416-593-4828

▽「トロント・シンフォニー・オー ケストラ(TSO)・ロマンス& ラブソディー」

二月四日・五日・二七日

ロイ・トンブソン・ホール
ブランウエル・トヴィー率いるプロコ
フィエフとカナダの作曲家ランドル
フ・ピーターズの作品を上演。ジョ
ン・キムラ・パーカーをゲストピアノ
リストに迎えてラフマニノフのバガニ
ニ・ラブソディー他を上演。演奏前
にパーカー氏のプレ・コンサート・チ
ヤットがある。入場料二五ドルから

(問) 416-593-4828

■オペラ

▽「ピゼー・カルメン」

三月一七・二〇・二二・二四日

リビングアートセンター・ミシサガ
入場料二九ドルから。

(問) 905-306-6000/1-888-805-8888

■バレエ

▽「The Comforts of Solitudes」and「The Dream」ナショナル・バレエ・オブ・カ ナダ

二月一四日ー一八日

ジャン・ピエール・ペローの初の共演。
フレデリック・アシュトンによる真夏
の夜の夢。入場料二五ドルから。

(問) 416-345-9595



■ダンス

▽「Dance 2000-2001」(World Moves)」

二月六日ー四月七日

ハーバーフロントセンター
昨年暮れから始まった「ワールドダ
ンス・ツアー」プログラムの一環。
サリアニサイドー(フルキナ・ファ
ソ)二月六日ー十日
サンブラダヤ・ダンス・クリエーショ



日新

NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC.

航空海上輸出入貨物輸送／倉庫保管／トラック運送／

海外・国内引越し／事務所移転…その他何でもご相談下さい。

「運送のデパート日新」国際ネットワーク

日本国内、米国、イギリス、ドイツ、オーストリア、スペイン、イタリア、香港、シンガポール、タイ、中国、
ロシアの各営業拠点を結び、「NISSIN」による安くて、早くて、確実なサービスを提供します。

Toronto / 42 Voyager Ct. N. Etobicoke, ONT.M9W 4Y3

Tel: (416) 674-0503 Fax: (416) 674-0881

Alliston / 292 Church St. S., P.O.Box 149, Alliston, ONT

Tel: (705) 434-3136 Fax: (705) 434-3140

Vancouver / #6-11411 Placsmith Place, Richmond, B.C. V7A 4T7

Tel: (604) 276-9691 Fax: (604) 276-0881

ンズ(トロント)三月八日ー十日
 アイランド・ダンス・カンパニー
 イスラント)三月一三日ー一七日
 マーク・ハイム&ベノー・ラシャンプ
 ル(N.Y.、モントリオール)
 三月二二日ー二四日
 グルツボ・コルボ(ブラジル)
 三月二七日ー三十一日
 ロナルドK・ブラウン・エビデンス
 (N.Y.)四月三日ー七日
 (問)416-973-3000

モントリオール

■イベント

▽「Yes! The World is Round」
 ～三月十二日まで
 スチュワート・ミュージアム
 ニューニレナム・プログラムの一環
 として、ルネッサンスから十九世紀
 までの三世紀にわたる科学者の世
 界と宗教観を展示。
 (問) 514-861-6701

▽「第九回モントリオール雪祭り」
 一月二七日ー二月十一日
 Parc-Jean-Drapeau 公演
 (問) 514-872-4537, 1-800-797-4537

▽「The Montreal High Light - 野外ラ
 イトフェスティバル」
 二月八日ー二五日
 Des Arts-Complexe Des Jardins を

中心とする市街地の美術館やレス
 トラン等で展開されるさまざまな
 行事、およびデザイナーやアーティ
 ストによる光のアート展。

■アート

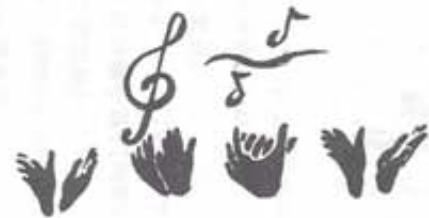
▽「Charles Gagnon-Retrospective」
 二月九日ー四月二九日
 モントリオール現代美術館
 絵画、写真、彫刻、映画、版画、コ
 ラージュなど多彩な活躍を見せるシ
 ヤル・ガモン展。
 (問) 514-847-6226

■パフォーマンス

▽「Montrealer Les ballets de Monte
 Carlo」
 二月一四ー十八日
 Theatre Maisonneuve-Place des
 Arts
 H.R.H. The Princess of Hanover 後
 援によるカナダ初の上演。
 入場料三〇ドルー七〇ドル
 (問) 514-849-0269

▽「イメージの楽隊Les Grands ballets
 Canadiens des Montreal」
 三月八日ー十七日
 Theatre Maisonneuve-Place des
 Arts
 Jordi Tancat によるベルベチウム、

ヨハン・ストラウスのワルツとカタロ
 ニア民話からの作品。



■コンサート

▽「ポート・シンフォニー」
 二月二五日ー三月四日
 Pointe-a-Calliere モントリオール考
 古学博物館
 汽笛や教会のベルなど、ユニークな
 楽器を使ったコンサート。
 (問) 514-872-9150

▽「モントリオール・シンフォニー」
 オーケストラ」
 二月二十日ー二二日
 Viennese Caprices
 ラルフ・バーシュ指揮、レナード・ガ
 ブソン、バイオリン
 モーツァルト、シンフォニー三五番
 「ハフナー」、ヨハン・ストラウスなど。
 (問) 514-842-9951

 日新トラベル

NISSIN TRAVEL, a division of
 NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC.



出張、家族旅行、その他何でも

旅のことなら日新へご相談下さい。

TORONTO 42 Voyager Ct. N. Etobicoke, ONT. M9W 4Y3
 Tel:(416)674-7057 Fax:(416)674-0881

バンクーバー

■コンサート

▽「バンクーバー・シンフォニー・オーケストラ」

二月一七日・一九日

オルフェウム・シアター

フランウエル・トリー指揮、シユーマン&ドボルザーク・マスターワーカー・ダイアモンドシリーズ。

(問) 604-280-3311

▽「セシリア・バルトリー・メゾン・フラン」

二月二四日

オルフェウム・シアター

イル・ジャルディノ・アル・モナコとのアンサンブルによるロツシーニ、モーツアルト他、十七、十八世紀の歌曲を歌う。

(問) 604-280-3311

■シアター

▽「CANDIDA」

二月一九日―三月一七日

バンクーバー・ブレイハウス

バーナード・ショーの代表的コメディイ。(問) 604-673-3311

▽「Forever Plaid」

二月六日―一一日

エヴァグリーン・カルチュラルセンター

スチュワート・ロスとジェームス・ライツトによるニュー・ジカル。

(問) 604-927-6555

▽「The Hobbit」

二月十日―三月一四日

ザ・ウオターフロント・シアター

カルーセル・シアター・カンパニーがビルボ・ピギンズを迎えて上演するキム・セロデリーの「ファミリー」からのライフタイム・アドベンチャー。

(問) 604-685-6217

▽「Greek」

三月七日―一七日

テルス・スタジオ・シアター、チャン・パフォーミング・アートセンター

UBCシアター主催、ステイプ・バー「フ」によるドラマ。

(問) 604-822-2678

▽「Dona Flor and Her Tow Hashan ds」

三月三日―十日

エレクトリック・カンパニー、VECC

共演によるコメディイ。

■オペラ

▽「ワグナー、フライング・ダッチマン」

三月二四・二七・二九・三一日

クイーン・エリザベス・シアター、ウィリー・アンソニー・ウオーター指

揮ロマン・ヒュルコ制作

(問) 604-280-3311

■バンクーバー・アートギャラリー

▽「Colouring The West: A Century of B.C. Painting」

四月二九日まで

三十、四十年代のリアリズムから五十、六十年代の現代抽象を経て現代に至るBCアーティストによる絵画展。パインング、ゴッティーフ、オーク、ジャック・シヤドポルト、ゴードン・スミスを始めとするBCの代表的な作家の作品を展示。

▽「クリーホフ・イメージオフカナダ」

二月一七日―五月

カナダ一九世紀の巨匠コルネリアス・クリーホフ(一八一二―一七二二)の百五十点を展示。

▽「Focus: Theodore Wan」

―三月四日まで

アートの定義や現代文化の代表者までをユーモラスに批評した作品の数々を展示。

(問) 604-662-4700

(フェイスカリーニ節子)



 **東京ツアー(株)**
TOKYO TOURS LTD.

まごころと感謝を胸に

旅

のご相談にお応えします。

TORONTO HEAD OFFICE
Tel:(416) 504-5111 Fax:(416)504-5115
436 Adelaide Street West, Toronto, Ontario M5V 1S7

FUJI VIP CONNECTIONS
Tel:(905) 672-8855 Fax:(905)672-8860
Sheraton Gateway Hotel / Toronto International Airport

MONTREAL
Tel:(514) 842-1757 Fax:(514)842-0916
625 Ave Du President Kennedy, Suite 1203, Montreal, Quebec H3A 1K2

デビッド ラム 弁護士事務所
DAVID LAM LL.B.
Barrister and Solicitor · Notary Public
General Practice

移民法 民事訴訟 その他

日本語(416) 809-7372 / 英語(905) 771-1188
FAX(905) 771-7027

Park Place Corporate Centre, Suite 411,
15 Wertheim Court, Richmond Hill, ON L4B 3H7

某月某日

ある北米人の

生き方

半田宏治

ジャックとのつき合いは私達が今の家に引越してから十年越しになる。引越し騒ぎが一段落したある日、早朝ゴルフにいそいそと出掛ける私に向かつて、ジョギングで全身汗ビツショリのジャックが握手を求めて来たのが最初の出合いだった。「ゴルフかい？あれはスポーツとは云えないな。俺は何といつてもラグビーさ。試合中相手に足を蹴られたり、体にひつきキズを貰つても、試合が終了したら、敵も味方もなくビールを一杯やるのさ。これ又うまくてね。」ゴルフ云々のコメントにはいささかムツと来たけれど、ジャックの直截的な云い方は何故か好ましく思われ、以後隣人同志、即ち垣根越しの付き合いがスタートした。

彼の本職は保険と不動産金融の仲介業と一くくりで云つても、その中味

たるや険しい山と谷の連続で、私よりも年齢で若干年輩のジャックだが、その一つ一つ対処する彼のエネルギーにはただただ脱帽するしかない。

「俺は昔プロのホッケー選手を目指して、ニューヨークのチームにスカウトされたことがある。所が最初のトレーニングキャンプでヒザに大怪我をしてしまい、在籍一ヶ月もせずにお払箱さ。ただオヤジが十七才の息子を買ってスポーツに出すのを心配して、契約の中にプロとしてダメだったら、ニューヨークのコロンビア大学を卒業するまでチームが全額負担するという条件を入れてくれたんだ。そこで金融の勉強をしたという訳さ。これでジャックが体ごとぶつけるスポーツが好きで、金融業を営んでいる説明がつく。」

十年前彼と知り合った頃は五十才前で、二度目の奥さんに初めてのお子さんが産まれ、年令的には孫のようなお嬢さんをジャックは溺愛し、至上の幸福にひたつているように見えた。

「コロンビアを卒業して不動産ブームに沸くフロリダに向かった。そこで保険業を始めて、不動産金融のプロカーに手を上げた。これは当初面白いように儲かった。そして最初の結婚をして、子供が三人も続けて生まれて、大きい家を買つてさ。四十にも達しない男が百万長者になるのはこんなに簡単なこ

とかと思つたね。」しかし不動産ブームは長続きしなかった。ジャックが仕掛けたフロリダの不動産物件が市場の冷込みでその殆んどが債務超過となり、ジャックは最初の失敗をやらかしてしまふ。と同時に最初の奥さんは去つてしまふ。ジャックは夜逃げ同然でトロントに戻つたと云う。彼の偉い所は敢えて安易な自己破産の手続きを拒否し、トロントで再スタートしてから十年目にフロリダ時代抱えた数百万ドルの負債を全額返済したことである。その頃にジャックと私は知り合ったのだ。

ジャックの家は不動産関係の来客が多く、まさにトロントのデイベロツパーの梁山泊といった趣が一時あつた。私もマスコミでも騒がれたデイベロツパーに紹介された事もあるが、要は諸々の事情で金融機関からの融資が十分受けられずジャックの所がこうした連中の駆け込み寺になつたと云えるのだろう。

好事魔多しとはジャックの事かと考へてしまふ事がある。五年程前のことである。不動産市場が冷込んだ時ジャックの事が心配になつた。急に彼の姿を見かけなくなつたのである。留守番の奥さんの表情も何か暗いものがあり、詳しいことは一切教えてくれない。そしてある日ジャックから電話があつた。「今詳しい事は云えないが、不動産投資に深入りし過ぎて銀行等に訴えられて身を隠している。女房には、離婚を迫

られるし、俺の人生は滅茶苦茶よ。」電話越しに彼が泣いているのがよく分かつた。何と答えてよいか思案中に電話は切れてしまつた。

それから二年経つただろうか？突然再びジャックから連絡があつた。「今度は小さい家だけ引越したんだ。遊びに来てくれるかい？」何はともあれ嬉しいニュースだった。彼は無事だったのである。

確かに小さな家ではあるが、台所や居間は徹底的に改造してジャックの趣味の良さが窺える。一瞬宝くじでも当たつたのかと想像を逞しくした。彼は云う。「自分は不動産金融で失敗したのだけど、昔俺が助けた一部のデイベロツパーが金を出し合つてわざわざこの俺のために買つてくれたのさ。」そして目下同居中のガールフレンドを指差しながら「こいつがアンタは二回も成功と失敗を繰返しているのだから、三回目の成功に賭けると云うんだよ。」とノロケるのであつた。

自助努力もあるだろう。捨てる神もあれば拾う神もあるという運もあるかも知れない。要は心構え次第で北米社会には「敗者復活」のメカニズムがあるという事を隣人の例を使って申上げたかつたのである。



◇ケベック、サグネイ・サンジャン湖地方の「ブルーベリー・ビール」

ケベック州深奥部、サンジャン湖地方はブルーベリーの産地として知られている。野生のブルーベリーを栽培して産業化、大量輸出している。タドサックにくじら見物に行った友人が珍しいブルーベリー・ビールをおみやげに買って来た。

「ジューズみたいなビールでしょう。そんなもの、飲める？」とおそろおそろ試飲した。赤っぽいターク・ビールで、確かにブルーベリーの匂いがある。人工香料なのか、本当のブルーベリーが入っているのか？



Folie Douce (Sweet Madness) というブランドで、アルコール度は五ミリ。醸造所は L'Anse Inc. があるが、どこだろう？

成分はスプリングウォーター、小麦モルト、バレーイモルト、ワイルド・ブルーベリー、ホップ、イースト、やはり本物のブルーベリーが入っているらしい。「ケベックの香りを出すために、野生ブルーベリーを濾過吸い入ることレーベルに書いてあるが、製造過程のどこで入れるのだろうか？ともかくひと味違ったビールでした。

◇エア・クリリーナー

最近のお買い得はエア・クリリーナー、すでにお使いになつている方も多いと思うが、最近の買い物の中で一番役に立っている。

空气中に舞い回っている微塵を吸収する単純な装置だが、喘息やアレルギー性の人、ベットのいる家庭では効果がある。アレルギー性の子供がいる家庭でエア・クリリーナーを使ったら、子供のアレルギーがいつべんに治ったという話を聞いて早速買って試してみた。換気とイオンの2スイッチがあり、就寝時にはイオンのスイッチに切り替えると、不思議なくらいスヤスヤとよく眠れる。昔自然がまだ多く残っていた頃、夏の疲れの後、新秋のさわやかさの中で心地よく安眠した感覚が蘇ってきた。お値段は百六十ドル〜二百ドルくらい。

◇三宅てる乃『着物ショー』

サンジャン・サンジャン…ロック音楽と着物がこんなにぴったりマッチするとは思ったこともなかった。ダイナミックなデイスコ・リズムに乗って、あでやかでカラフルでさらびやかな着物が次から次へと二百数十点、止めどなく速いテンポでステージに現れる。日本文化に全く縁のない外国人が見て楽しめるキモノ・ショー。

JTB

ご旅行の御相談は
お気軽に JTB へ!!

JTB INTERNATIONAL (CANADA) LTD.

Royal Trust Tower, Suite 3105, 77 King Street West
Toronto, Ontario M5K 1E7 Fax: (416)367-4859

Tel: (416)367-5824 (JTBI)



航空券、ホテル、レンタカー、ツアー、クルーズ

昨秋トロント・コンベンション・センターで開かれた三宅てる乃着物ショー(新企会主催)は、予備知識なしに誰にでもわかり、理屈なく楽しかった。

京都きものファッション協会会長の三宅てる乃さんは、着物デザイナーであると共に、「着物ショー」を構成し、海外公演を活発に行っているキモノ大使のような人。自らモデルにもなり、歌も歌えば踊りも踊る多才な人である。

日本からのモデルさんの足りないところは現地参加。トロント、ヨークヴィルの美容室、ジャンピエール・クリスアンセンの経営者の一人、ステイブンもモデルにかり出されて、生まれて初めて着物を着せられ大はしゃぎ。



三宅てる乃さん→

下はマンハッタン اسکイクレイパー柄と扇面くずしと這い松をデザインした着物



着物モデルになったステイブン→

「I'm not shy! Terrific experience」という舞台に出てフットライトが当たるともう何も見えなかつたそうだ。彼が着たのは遠目にはグレイっぽい玉虫の光った着物、ショーの後近くで見ると、ベイブリー模様を織りだしたなかなか手の込んだモダンな着物だった。黒地にマンハッタンのスカイクレイパーの夜景をデザインした斬新な柄もあれば、古代紫地に三十六歌仙の扇面くずしと這い松の伝統的組合わせもある。お七夜のお宮参りから結婚式までの、各成長段階で着るさまざまな伝統しきたりの中の着物、旅行着、労働着、歌に合わせて着物の着付けを見せるシーンなど、すべてがショーの中に折り込まれている。



和食器も豊富に取り揃えました。お気軽にショールームへお出かけください…



Noritake
CANADA LIMITED

90 NUGGET AVENUE, AGINCOURT, ONTARIO, CANADA M1S 3A7
TEL: (416) 291-2946 FAX: (416) 292-0239

外交夜話

同じパレスチナの地にユダヤ、パレスチナの両民族が平和に共存できるようにすること、それが中東和平交渉の核心です。この地をめくってイスラエルとアラブ諸国は何度も戦争してきましたが、約十年前国際情勢の大きな変化を受けて始まった交渉は紆余曲折を経ながらも最近まで着実に進展してきました。ところが、ほんの些細なきっかけから、今日このプロセスは大きな危機に瀕しています。本当に残念です。

和平プロセスが歴史的転機を遂げたのは、一九九三年の秋でした。当時私はイスラエル大使を勤めていたのですが、ワシントンで行われた正式交渉は全くの膠着状態に陥り、悲観的ムードが蔓延していま

した。そこに青天霹靂のニュースが飛び込んできたのです。何と、イスラエルとPLO(アラファト率いるパレスチナ解放戦線)がオスロー郊

外で数ヶ月に及ぶ秘密会合を経て、今回合意を達成したというのです。世界中が驚嘆の声を挙げました。あまりにも見事な秘密外交であり、極めて大胆な合意であったからです。イスラエルはガザとシエリコ(西岸の一部)にパレスチナの暫定自治を先行して認め、交渉締結までのロード・マップを示し、将来の両国の協力構想にまで言及しているのです。

私は、このニュースがCNNで流れる一兩日前に、懇意にしていたイスラエル商業大臣からガザ、シエリコ、ファーストで行く旨耳打ちされていましたが、まさかオスローで秘密交渉があったとは思ってもより

ませんでした。

オスロー合意の正式調印は、忘れもしない。十月一日ホワイトハウスでクリントン大統領立ち会いの下で行われ、ラビン首相、ベレス外相がアラファト議長と握手する歴史的瞬間をテレビに釘付けになって見えました。

ラビン首相が「天の下では何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。・・・殺すのに時があり、いやすのに時がある。・・・泣くのに時があり、微笑むのに時がある。・・・」と挨拶した時には、万感胸に迫り、長かった中東紛争の終わりの始まりがようやく始まったと感じたのは私だけではない筈です。

アラファトのガザ凱旋



内田勝久
駐カナダ
特命全権大使

この合意に一番仰天したのはおそらくイスラエル軍と秘密警察モサッドだと思います。何しろそれまでは不倶戴天の敵と教えられていた人物(アラファト)を今後はイスラム過激派から守れとの司令が出された訳ですから。イスラエルの外交・治安方針は一夜にしてコベルニクスの転換を遂げたのです。それまでは私が東エルサレムのパレスチナ人組織を訪ねるのを苦々しく見ているイスラエル外務省も、日本の対PLO接触は大いに結構、対パレスチナ支援もほとんどやめて欲し

いという態度に豹変したのです。

暫定自治が始まってもしばらくはアラファトはこの地に帰って来ませんでした。暫定自治自体が混乱していましたし、これに反対する過激派の動きにも不穏なものがあつたからです。しかし、外交団の間では彼が、いつ、どんな形で凱旋するのか、例えばジェリコにヘリコプターで降りるのか、船でガザ港に入るのか、が大きな関心事となっていました。そして、確か十一月に入ってからだと思いましたが、ある日突然PLO事務所から、明日アラファトは陸路シナイ砂漠を経由してガザに到着する、外交団も歓迎式典に招待するとの連絡が入りました。

その日私はあの中東一の有名人をとくと観察しようと、勇躍現地に出かけました。そしてガザPLO事務所付近の沿道に設けられた仮設スタンドに案内されたのは良いのですが、どうも少し様子がおかしい。私以外に大使は誰もいないのです。二十数カ国の外交団の代表は次席か政務担当官ばかりで、聞いてみるとどうもイスラエル政府に遠慮したらしいのです。確かに私もイスラエル政府に対する大使ですので、一瞬場違いの所に来たのかなと思いが脳裡をよぎりました。しか



しちょうど考えてみれば、イスラエル政府はアラファトを認知しているし、これまでテュニスで同僚日本大使は何度も彼と面談しているのです。誰にも遠慮はいらないのです。

それはともかく、沿道は黒山の人だかりなのですが、予定の時間を大幅に過ぎててもアラファトは一向に姿を現しません。手持ち無沙汰に二時間も待たせようか。遠くから一団の群衆が歓声と共に押

し寄せて来るではありませんか。アラファトの車列は人垣と一緒に動いているのです。終着地点が近づくと彼も車を飛び降りて歩き出した。例のアラファト・ファッションを装い、得意満面に歓迎に応えている彼の姿を見て、私は彼の不死身の政治生命に感じ入っていました。でも、彼はどんどん目の前を通り過ぎていくのです。何だ、これだけのことが、やっぱり出かけて来た甲斐はなかったのかと、がっかりし

て帰りかけていたところに、急にアラファトが外交団を引見するとの報が入ってきたのです。PLO事務所内で待つことしばらく、嬉しさを隠しきれない様子のアラファトが登場し、「自分の二十八年ぶりの帰還を出迎えてくれたことに感謝したい。諸外国のPLO支援に感謝したい。」と挨拶しました。私は、外交団を代表して、「議長の帰還を歓迎したい。日本はパレスチナの国造りに出来る限りの支援を惜しまない。」との祝辞を述べました。そして、やっぱりガザまで出向いてきて良かったと実感しました。

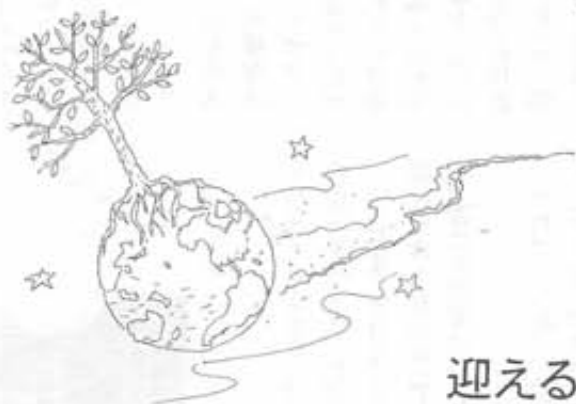
その後アラファトとは日本の対パレスチナ支援をめぐって何度か会い、キスもされました。共同記者会見をした事もありました。最近テレビで見るアラファトは相当年をとつたように見えますが、あの頃はいつもチャタリングで、かわいらしくさえありました。彼がパレスチナのテロ活動を含む解放闘争の首謀者であつたとは未だに信じ難い気持ちです。

あの頃のことを思い出すにつけても、中東和平プロセスが一日も早く再開されることを祈つてやみません。



「根こじせられし木」

太田雄三



21世紀を 迎えるにあたって の感慨

ンは一九一一年まで三十数年にわたって日本に住み、古事記を英訳したり、東京大学で言語学や日本語学(一)を教えたりすることになる。神経衰弱がチエンバレンを世界有数の日本学者にした。と言えば、「風が吹けば桶屋が儲かる」的だが、私がカナダに住みついたのも、一見無関係なこととのせいであることに思いあたる。

チエンバレンが日本語を「最も雅やかに美しく」話したことは、彼が余生をスイスのジュネーヴで送るため日本を去る際に書かれた、佐々木信綱「王堂チエンバレン先生を送る」(『帝国文学』明治四十四年三月号)に見えるが、その中に引かれていたチエンバレンの日本語の言葉に「余の一生は根こじせられし木の如く」というのがある。広辞苑を見ると、「根こじせられし」の「根こじ」の終止形は「根こず」「根堀ず」らしい。

この古語は多少見なれなくとも、チエンバレンが自分の半生を振り返って、それを根から引き抜かれた木に例えていることはたやすく理解できる。私のカナダが長くなつたせい、この「余の一生は根こじせられし

木の如く」という特に変哲もない言葉が心に掛かる。

二十世紀のフランスのすぐれた女性思想家シモーヌ・ヴェイユ(Simone Weil)(一九〇九—一九四三)は最晩年に書いた L'enchânement (Gallimard, 1949)の中で、「根を下ろす」ことの大切さを論じている。人の価値観は様々だから、根なし草で結構、そのほうが気楽でいい、という人もいるかも知れない。しかし、私はやはり根なし草では本心に豊かな人生を送れないような気がする。

考えてみると、二十一世紀を迎えようとしている私達は、たとえずつと自国に居続けたとしても、根なし草になる危険にさらされていると言えるだろう。世界がますます一体になる(グローバルゼーション)ということの反面は、世界が画一化し、文化の地域的多样性が失われるということだからだ。

数年前しばらく振りに東京で大学時代の恩師をお訪ねしたら、庭のある好ましい古びた日本式邸宅として記憶にあった先生の自宅は、北米にあって不思議でないような四階建ての近代的マンションに変貌し

私は一九七四年からモントリオールのマツギル(McGill)大学で日本史を教えている。初めは任期二年の客員講師ということで来たのだけれども、いつのまにか四半世紀以上が過ぎてしまった。

思いがけず異国で長い年月を過ごすことになったという点では、私は一九九八年にイギリスで出版した Basil Hall

Chamberlain: portrait of a Japanologist (Curzon press)の主人公、日本学者のチエンバレン(一八五〇—一九三五)も同じだった。このイギリスの海軍軍人の息子はもともと日本とは何の関係もなかったのだが、肌合わない銀行勤務で神経衰弱になったため、転地療養の目的で帆船に乗り組み、着いた先が横浜だった。日本が気に入ったチエンバ

ていた。私達が住む今日の世界は、どこに行ってもマクドナルドがあるといった具合に、共通部分が増えてきたために、たいした不便を感じさせずに国境外への移動を許す。しかし、反面ではそこでは自国においてさえ本当に空間的に根を下ろし、大地とのつながりを実感することが出来にくくなっているのだ。

結局、私達が根なし草になる危険を感じ、根を下ろそうと努力するとしたら、その努力は過去に根を下ろすこと、および自分自身に根を下ろすことに向けられる外しかないかも知れない。

私は一年に二、三度自分が存在していることがたまたまなく不思議に感じられることがある。生命科学者の柳沢桂子は私達の細胞は「三六億年の歴史を持つ」（『癒されて生きる』、岩波書店、一九九八年）と言っている。

地球に生命が誕生して以来、私の両親に至るまでの、何億とも知れない私の直接の先祖達、彼らがあらゆる危険を切り抜けて三六億年もの間、言わば生命のバトンを渡し続

けてきた結果として、私が今日ここに存在する——このことは全く奇蹟に近いことのように思われるのだ。

私は個人的な人間だけけれど、私達が歴史の中に生きていくことを意識することは大切なことのように思われる。自分が生まれる前にも世界があったし、自分が死んだ後にも世界はあるという意識なしには、世界と責任のある関係が持てないように思うからだ。

私が東西を問わず、古典的文学作品（日本で言えば、源氏物語、徒然草など）を読むのを好むのも、人類の過去との関係を親密にしたいという願いの現れと言えそうだ。

過去に根を下ろすことによつて、はじめて自分を育ててくれたものに対する正当な理解が生まれ、自分に根を下ろすころ（本当にありたいような自分になること）も可能になるのではないだろうか。

〔二〇〇〇・一一・二七〕
（マツギル大学教授）

□表紙の言葉□

日塔富夫



雪ふりの日、はてしなく次から次と、薄灰色の空間の中から降りてくる白い雪片を見ていると、三年前に訪れたジャスパー国立公園のアサバスカ氷河が記憶の中に浮かんできた。氷河の写真は何度も見たことがあったが、それらは高い山脈の一部としてしか理解しておらず、あまり気にも止めていなかったのだ。が、アサバスカ氷河の水の上に立ち、氷上を流れる数本の川のような流水の水を飲んだ時、僕は、なにか、遠い何万年か前の地球の歴史とつながりが出来たような気がして感激したのだ。そしてその水はともうまかったのだ。

を増し、かかそこんでいた空気を徐々に放出する。ついに積雪が三十メートル程になると、下部の雪は強度に圧縮され氷になるのだ。そして、さらに降り積もった雪が重さをくわえて氷が厚くなると、ついに山脈の溪谷からあふれ出し流れはじめる……これが氷河の始まりということだ。ちなみにアサバスカ氷河の氷の厚さは、九十メートルから、最も厚い所で三百メートル位あるらしい。

現在地球上でおきている温暖化現象はこれらの氷河の後退と縮小を速めている。年々増加する人間の作り出す大気汚染物質の方が、自然の積雪より多くなっていることなのだろう。

雪ふりの中、二千一年がやつてきた。沢山の便利機能にとりかかまされた人間の生活は、ともすると自然を忘れさせる勢いをもつ。でも結局は自然あつての人間、地球あつての人間である。絵の中、想像の中では好きなように地球を描けるけれど、現実はいびしい。

さあ、車をすてて地球をだいにしよう。（イラストレーター）

フワフワと空から舞い降りてくる雪が山脈に積もった時、それらは空気をかかそこんで積もる。そして来る日も来る日も降り続く雪は重さ

『フーホリのOBは今』

カナダで決めた私の人生 「大事なんは人なんやてー！」

ニユース和歌山編集長
小倉一毅(かずき)

あけましておめでとうございませす。

私がカナダで生活していたのは、一九八七年十月から八八年十一月までの一年あまり。今はもう発行していないそうですが、滞在中は日系一世、二世の方々が主な読者の「カナダタイムス」で働かせてもらっていました。

これを書くにあたり、カナダタイムスに書いた記事を読み返してみました。スクラップをくつてみると、これがまったく趣味の世界。やたら阪神タイガース情報が多いのと、「日本語コーナー」としながら関西弁講座をしていたり、年末年始のニユース旅行記を掲載していたり。いやはや、お恥ずかしい限り。

ですが、ここで自由気ままに仕事をさせてもらったことが決め手となり、現在も故郷の和歌山で「ニユース和歌山」という新聞社に勤務、カナ

ダ時代と同じように新聞編集の仕事をしているのです。たった一年のカナダ生活でしたが、これが私の人生を決めることになりました。

開業医の長男として生まれた私は、生を受けたその瞬間から、いやもつと言えば私が母の体に宿った時から、将来は医者になることを期待されていました。しかし、医学部進学を拒否し、人より三年遅れで明治大学法学部へ。一九八六年春の卒業とともに和歌山へ戻り就職しましたが、豊春にはカナダのワーキングホリデーに申し込んでいました。トロントで職に就いたのは八七年十一月初旬。二十六歳の年齢を考えますと、将来の職業につながる仕事をしたいとの気持ちはかなり大きくありました。



小倉一毅さん一家の近影

前列右から由輝君と由莉ちゃん
後列右から小倉さんと裕子夫人
.....

★和文タイピストとして入社 トロント・サミットを取材

もともとマスコミ関係には興味があり、報道の現場で何か仕事をさせてもらえないかとトロントスターなどいくつかあたってみましたが、どこも「英語のできん人はアカン」との回答です。「そりや、そうや」と納得している時にカナダタイムスで見つけたのが、「和文タイピスト募集」の記事。それまでワーキングホリデーで

やって来た者を採用したことはなかったようですが、人手不足からかあつさりOKしてくれました。
カナダタイムスは新聞社とはいっても、事件事故があつても走り回ることもない、週二回発行ののんびりした体制。慣れるにつれ、勝手に雑文を掲載したり、適当に取材に行つたりと、八八年八月まで楽しく過ごさせてもらいました。

帰国後、ニユース和歌山に入社したのは八九年二月。面接にはカナダ時代のスクラップを持参し、「トロントの日本社会に入り込み、日々取材にいそしんでいました。竹下首相が訪れたトロントサミット、和歌山県人会の会合、新体操の秋山エリカさんに話を聞くなど幅広く活動してきました。」と多少誇張を交えながらアピール。これがきいたのか、「今、職に就いてないなら、来週から来るかい？」と、この時もあつさり決まりました。

入ってみると、たまたまカナダタイムスと同じ週二回発行で、朝日、毎日、読売、産経の四紙に折り込んで配達するため、締め切りから発行まで五日かかる新聞です。やはり事件事故で走り回ることはなく、地元根ざしたネタを中心に報道する



八八年トロント・サミット
参加国首相達の記者会見

点でもカナダ時代と同じです。

だいたい週休二回のカナダ生活に慣れており、昼夜なく走り回る生活は想定していませんでした。実は帰国する時はカナダとの往復切符を入手しており、しばらく日本で骨休めした後、またカナダに戻るつもりでいたのです。それが消えたのは胃潰瘍のため。帰国直後に体調を崩して病院に行くと、そのまま入院。約二週間病院で過ごしたことで入院費など思わぬ出費があり、カナダ行きの資金を稼ぐ必要が出たのです。ニースと歌山に入ったのも、興味ある仕事だったのはもちろんですが、自宅から通うことで早く資金をためる意味もありました。それからあつという間に十二年。二年前から編集責任を任されており、すっかり和歌山に根を下ろしています。

★人は人に興味あり

二十一世紀のかわら版をめざす

カナダ時代、印象に残っていることがあります。オーロラのデザインを担当してくれています山本博さんの言葉、「人は人に興味あり。新聞の基本は人を出すこと。」です。

和歌山に戻つても、取材をし、記事を書く時は、常に「このことを頭に置いています。」とすればこの人の

個性を的確に紙面にだすことが出来るのか。「本当にいつもいつも考えているのです。」

一九九八年四月編集長となり、編集方針を出す際は「二十一世紀のかわら版」をメインテーマに掲げ、「読んでもらえる新聞づくりには、まず人を出すこと」と一番に書きました。以後編集部員には「和歌山に住むいろんな人を紙面に登場させるんや。」とことあることに話しています。

先日小学生達が新聞作りを見学に来ましたが、やはり同じことをしゃべりました。

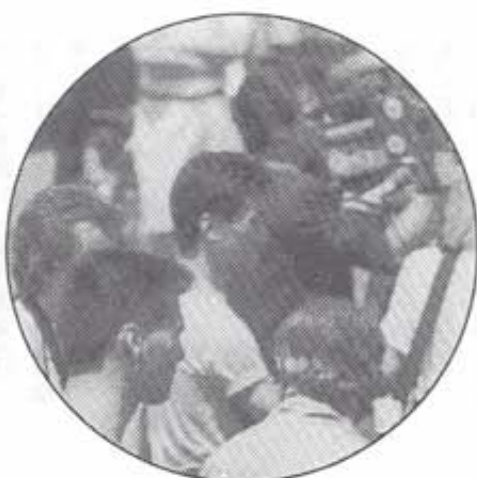
「大事な人は人や。誰でも、その人にしかない特徴がある。それをどうやって文章にしていくなかを考えます。それに、そうやって一生懸命書いた文章は、きつと読んだ人の印象に残るよ。」と。

カナダ時代は、画家の山本博さん、カナダタイムズの田場国男社長をはじめ、JCC元会長の井上律子さん、オーロラ発行者の平塚さんなど、様々な方にお世話になりました。「ワーキングホリデーでカナダに生活した人が、その後どんな生活をしているのか。文章を寄せて欲しい。」と平塚さんから依頼があり、これを書かせてもらいましたが、これも人のつながりがあったからこそ。

私がカナダタイムズに書く時は、「OKINI」「MAIDO」「FITZGERALD」「O'BOOGIE」など適当なペンネームを使っています。また、実家が和歌山の市街地にあり、「ダウンタウン出身や」と吹聴していたことから、「和歌山のダウンタウンボーイ」と呼ばれることもありました。

そのボーイも今年四十歳を迎えます。一九九四年に結婚し、家もかまえ、息子と娘の二人の子どもにも恵まれました。拙文をお読みいただいたことで、私のことを思い出していただける方がおられれば嬉しく思います。

今年一年の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



八八年トロント・サミットで
取材中の小倉さん



カナダは指折りのゴルフ大国と聞く。ゴルフ人口は、人口比率では世界で一番だそう。先般紹介されたカナダのゴルフ雑誌「SCORE Golf」による「カナダ Top 100 Courses」をみるにつけ、それもそのはずと納得せざるを得ない。

(詳細については、サイト www.scoregolf.com を参照された。カナダのゴルフ・ニュースが満載されている。)

特に近年オープンしたゴルフコースは、その数が多いばかりでなく、一流選手の設計によるものが多い。ゴルフ場設計者によるものが多い。自然と調和されたリンクスコースあり、林間コースありのデザインは、目を見張るものがある。フェアウェイの両側に真っ直ぐ天高くそびえ立つ赤松並木、静かな湖畔に写るメープルの木々、岩場を切り取った真ん中に伸びる緑のジュータンのように広がるフェアウェイ、コントラストよろしく真っ白のバンカーに囲まれた滑らかにうねるグリーン等、どれを取ってしてもコースデザインナーのすばらしいアートが窺える。その美しい自然の中で白球を追いかけるとき、コースデザインナーに心から感謝したい気持ちでいっぱいになる。カナダでゴルフができること、そして健康で楽しくゴルフをエンジョイできる自分はつくづく果報者と思う。仕事柄世界各国を廻る

機会に恵まれ、もちろん好きなゴルフも各地でプレイして来て感じることは、トロントこそ世界に類を見ないゴルフ場のメッカであることだ。

ゴルフを始めてからかれこれ二五年になるが、最初の頃はこれほどゴルフキチンになるとは想像もできなかった。最初は年間プレイ回数が一〇〇ラウンドを越す始末。冬季トロントで出来ないシーズンは日本、ラスベガス、フロリダ、ハワイ

醍醐味はパット

藤井勇
(OGAハンディ9)



等でチャンスを作つてはプレイしている自分に驚く。何がこれ程までに夢中にさせるのか？たかがゴルフなのだが、やっぱりゴルフなのである。少しずつ上達する自分が可愛いし、ナイスショットが出来た時は自分を誉めたくなる。反対にミスショットした時、ショットパットを外した時、自分が情けなくなる。自分の不甲斐なさに腹を立てる。一流プロでさえミスショットはするし、ショットパットも外すのに、自分の未熟を棚に上げてカッとする。自分を

誉めたり、叱つたり、結局ゴルフは自分との戦いなのだ。つくづく考えさせられる。こんなにゴルフにハマってしまつた自分を自分なりに分析してみると、例えば将棋とか囲碁の場合は、相手に勝つて初めて自分の成績が評価される訳だが、ゴルフは昨日の自分の成績より今日の自分の成績が良ければ満足できるのである。テニス、柔道等、その他多くのスポーツもしかりである。ゴルフは相手を倒すことを目的としていない。自分自身との戦いによつて

展開していく、そういう所が自分の性に合つていたのだと思う。

ゴルフの醍醐味はパット。いくらドライバーでナイスショットしても最後のパットを外すとナイスショットも水の泡と化す。ゴルフアーに対する教訓、「たかが3フィート、されど3フィート」と言うのがある。みんなこの距離に泣かされる。この最後のパットにスタンスを取る時、何というか、身体中の血が頭に上り詰めるような気がする。身体

中がしびれて来て、手が震え始める。頭がグラグラし始める。こうなるともう普段のパットが出来ない。2フィートや6フィートだとしても事にはならない。2フィートだと外す筈がないと確信が持てるため、安心してパットが出来る。逆に6フィートくらいになると、外してもいいやと半分諦めの気持ちがあり、すんなりパットが出来る。すると不思議にカップインする。

ところが3フィートとなると何故かナーバスになる。目標が目と鼻の先、これくらい入れないと駄目かしい、外したらどうしよう、等々マイナスの状況が頭に来て、コチコチになつてしまふ始末。ゴルフアーなら誰しも経験している事だ。話は逸れるが、このショットパットをする時、心臓マヒで倒れる人が多いので心臓の弱い人、シニアの人は6フィート以内のパットをOKとするのをおすすめ、と何かの本で読んだことがある。それほどショットパットがプレッシャーになる証拠だ。ところが、ゴルフアーにとつてはこのプレッシャーが又たまらない快感なのである。プレッシャーの中でパットを決めた時、ホットする。タイガー・ウッズのように「やったあ！」とガッツポーズを取りたくなる。一八番ホール最終パットを終えた時が、プロでもアマでもゴルフの醍醐味を味わえる時ではなからうか。

(東京ツアーズ社長)

名前の散歩道

「浅見家の人々」(その一)

名は
体を現す



浅見
光彦

全くひよんな事から、編集長の前で姓名判断の話題になり、はからずも新シリーズのきつかけとなった。

もとより「占い」などというものは、信じるも信じないも個人の思いようひとつで、科学的データがあるわけでもなく、はなはだあやふやなもの。私とて古くから伝わる方法だからと、「こゝろさら権威づけて「信心」を求める気もない。しかし宇宙時代になつても古い人口は一向に減る様子はなく、巷には新車の古いが次々と登場し、コンピュータではコンピュータをクシして二丁ズに込え、それが結構、採算に合っているようだ。流行の一端に便乗して、形式張らずに書いてみようと思う。

とはいえ、身近な実在の人々を組上に乗せるのは気が引ける。歴史上の有名人は使い古されて新味がなく、芸能人と同様に特殊例である。そこで格好の材料が目についたのだが、読者の方々にはなおさら絵空事だろう、などと思索しつつ期限が

迫り発車オーライ、まあ騙されたと思つて読んでみて下さい。

探偵小説はあまり読まないのだが、内田泰夫さんの「浅見光彦シリーズ」は例外で、ほとんどの作品を読み漁った。作品評はお門違いであるが、登場人物の名前の的確さには正直、舌を巻いている。

作者は姓名判断をなさるわけはあるまい。おそらく作者自ら告白なさっているように「プロットを用意せず、場合によっては犯人や、反抗の動機についても知らないまま書き進める」という神わざの持主だからこそ、姓名判断から見てもウソイツワリの無い結果が出るのだろう。名は体を現して登場人物が自由に動ける感覚をお持ちなのか、登場人物の性格に合わせた命名をなさる勘をお持ちなのか、おそらくその両方であろう。そこで浅見家の人々を姓名判断で見ると、興味深い結果になる。「浅見」という姓は成功が長続きし難いものがある。作品の中でも父親「秀一」は次期大蔵省次官と目されながら急逝したが、名前も災いしているようだ。母の「雪江」は女性としての幸せは薄く、淋しさのつきまとう名である。末亡人になった上、次女が事件に巻き込まれて亡くなっていく。「雪江」の性格は厳格で、温か

さに欠け気位が高い。幸いに浅見雪江は生まれ育ちが良いようで、ものわかりが良く、人を受け入れる度量がある。兄の「陽一郎」は世に出る名で、しかも公僕あるいは国家を護る下僕としての自覚が伺える。

陽一郎の妻「和子」は本来は見合の結婚タイプ、雪江の権威がよほど立派なため嫁姑の問題は起きていないが、「和子」は頭が良く理屈も多い。そのため恋愛すれば恋人から辟易される事もある。人生に変転は少なく、総じて安定した運勢を持つ。

主人公の「光彦」は実に立派な名前前で、これで世間的な欲(地位やお金)を目標に生きれば、もう目も当てられない人生になるだろう。光彦は母親からは、三十三歳にもなつて定職にも就かず嫁の来てもないと溜め息をつかれ、はなはだ評判が良ろしくないのだが、光彦が少年のような好奇心があふれる心で事件を追ひ、彼らしく生きる事で浅見家の運を助けている。運の力は世間的な評価の外にあるものだ。しかも画数は十五画で、人から好かれ目上からは可愛がられ、調停役に向く。彼が犯人を追いつめて正義を問うたとしても決して告発はせず、犯人に身の振り方を決めさせるのも、名前の持つ傾向と一致する。なお、浅見光彦の

フルネームは三十四画となり、ズバリ犯罪に巻き込まれる名であり、一般人にはお勧め出来ません。

さて、家族の中から外してならなにがお手伝いの須美子嬢です。「須美子」という名は世間の下積みになりやすい。お手伝いという職業は緑の下力持ちであり、世間から脚光を浴びることは先ずないのだが、浅見家の須美子さんは例外だろう。問題は「美」で美しくあれと親は期待を込めて女の子に付ける事が多いのだが、決して幸せの保証にはならず、家庭苦や人間関係の苦労が伴う。須美子嬢も高校卒業後、進んで他家のお手伝いを志願する位ですから、そこには何らかの事情があったと想像しても不自然ではないだろう。一般的に「美」には、親子関係、兄弟姉妹、夫婦間などに深刻な問題を抱える人が多く、人生の前半に出なければ後半に出るし、酷い場合は一生を通じて悩みが続く事もあり得る。しかし苦難に潰されずに乗り越えて行く人が多いのも事実です。

次回には、さらに他の登場人物の名前を例として、この項を続けま

す。
姓名判断をご希望の読者は、左記まで連絡して下さい。
6 Orser Dr. RR#3, Barrie, ON,
L4M4S5(FAX) 705-737-0921



コタツ・ネコ

ガラス窓が凍っているような寒い一日。どこにも出かけたくない！そんな一日をどう過ごすか。起き抜けに、コーヒー片手に机に向かう。

さーて、コンピュータをオンにして、ニュースでも見よう。まずは気になる大統領選の行方でも見てみようかな。アメリカの CNN のニュースサイト、www.cnn.com/ に行ってみる。ゴアちゃん、どうやら形勢不利だね。

英文読むのに疲れたら、日本語版の CNN サイト <http://jpn.cnn.com/> へ立ち寄ってみる。和訳されているから読むのが楽だ。英語版と日本語版の画面を両方開いて、横並びにすれば、ちょうどして英文解釈のお勉強にもなる。

CNN の日本語サイトの「ごぼれ話」の項目はお気に入り。ちよつとした面白い話題が載っている。十二月五日付けには、

『目指すのは、四つ星レストランならぬ「四つ星トイレ」。毎年、多くの海外旅行者を引き付けている中国の北京は、不衛生さで悪評高い公衆トイレを改善し、旅行者のマイナスイメージを水に流そうと、星の数によるトイレのランク付けを計画した。競争原理を導入してきれいなトイレづくりを進めようというもので、二〇〇八年のオリンピック開催地への立候補も、この計画を後押ししようだ。』
なるほど、なるほど。ちなみに「四つ

星トイレ」の榮譽を得るには、「床に花崗岩を使い、軽快な音楽を流し、水洗設備を設置するといったことが欠かせない」ということだとか。なんだかおかし。

ついでに、日本の新聞も見てみるか。検索ソフトでお馴染みの「Yahoo! Japan」 www.yahoo.co.jp/ へ行くと、「メディアとニュース」の項目から、「新聞」を選んでクリック。朝日新聞、www.asahi.com/ や毎日新聞、www.mainichi.co.jp/ それから、読売新聞 www.yomiuri.co.jp/ など、各紙の記事を斜め読みして、自分なりに比較して楽しむ。

ニュースといえば、カナダの様子もチェックしておこうかな。「Yahoo カナダ」へ行くと、<http://ca.yahoo.com/> で、カナダの新聞にどんなものがあるのか検索。全国紙、地方紙、いろいろあるね。まずは Globe and Mail を読もう。www.GlobeAndMail.ca/ ヘジャンプ。過去一週間の記事検索もできるから、ほんと便利だね。

さあ、朝ごはんを食べたら、大好きなパンダを見るために動物園へ行こう。サンディエゴ動物園の公式サイト、www.sandiegozoo.org/ P. Panda Cam の項目をクリック。すると二十四時間カメラで、パンダちゃんたちの動く姿が見られる。九十九年八月生まれの Emma、ちゃんって、とってもかわいい。おい

JEAN-PIERRE & KRISTENSEN
 ジョン・ピエール & クリステンセン美容室
 美容一般、着付、エステ
960-0335
 予約はユミ子まで
 29 Bellair St. Unit 207, Toronto
 (地下鉄 Bay 駅下車、Bellair 出口すぐ)

新司・割烹みかど

- お子様メニューもございます。
- お寿司その他デリバリー致します。
- 20名様までご宴会うけたまわります。

シェフ オーナー 樹田 佳一
 114 LAIRD DR. LEASIDE, ONTARIO
 PHONE: 421-6016 **LICENCED**
 日曜定休

しそうに笹を食べているぞ。そうだな、パンダの生態も知りたいな。同じページの項目 Panda Facts をクリックして、次のページにジャンプ。それから、また、いろんな項目を選んで読んでみる。ちょうどしたパンダ学者になれた。去りぎわに、お買い物。サンディエゴ動物園のお土産品店サイト www.shopzoo.com/で、パンダ関連グッズを注文する。あらまあ、動物園で、意外にも時間をつぶしてしまつたな。

お昼を頂いて、お次ぎは、読書の時間にしよかな。版權の切れた日本の文豪の作品なら、インターネットの電子図書館、青空文庫

www.azora.or.jp/へ、梶井基次郎にしようかな。宮沢賢治にしようかな。あまりにたくさんさんの文学作品があるので、作品を選ぶのに迷う。少しずつダウンロードして、日時をかけて読むことにする。

コンピュータの画面上で読むのもいいけれど、やっぱり手元に本が欲しいな。新刊情報を得るために「本と出版流通」サイト www.bekkoame.ne.jp/~nuchi/へ。ここでは、小さな出版社から出た本の情報も得られる。本を買うなら、大型インターネット書店アマゾンも覗いてみるか。 www.amazon.co.jp/へ。日本の本も海外へ送ってくれるわけで、和書の個人輸入も便利になつたね。

戸外に出ないぞ。どうせなら現実に行けそうにないところに行ってみようかな。まずは、絶対に訪ねることもない宮内庁 www.kunaicho.go.jp/へ。伝統文化や皇室行事などの情報いっぱい。日本人といえど知らないことばかり。ひとつひとつじっくり読んでいたら日が暮れる。

お次は、私では絶対に行けそうにない宇宙へ！宇宙開発事業団宇宙ステーションのホームページ <http://jam.ksc.nasda.go.jp/index.html>で宇宙関連情報やら写真を見る。あらまあ、外では、月もお星さまも出てきたぞ。自分には縁のない宇宙と思っていたけど、こうやって眺めると、なんだか身近な世界に感じるな。

身近な世界といえは、カナダに来てから知り合った方々のサイトにも寄ってみようかな。

バントマイムの手法で語りの世界を創っているアーティスト、山本のりさんのサイト www.noikoyamamoto.com/へ。うわー、デザインも写真もきれいな。ビエロの格好したのりさん、着物姿の写真もあるぞ。それから「オーロラ」に乳がん体験を執筆されていた真矢ときこさんの記事は、<http://achieve.utoronto.ca/sadako/>で読める。他の乳がん関連サイトにもリンクしているから、がん関連情報を見つけるのに、とても便利だ。

そろそろ、晩御飯。食後、田舎の親戚から国際電話あり。なんだか急に故郷が懐かしくなつたので、里帰りしよう。鹿児島市のサイト www.city.kagoshima.kagoshima.jp/Webkagonsai/へ GO! 行って「かしま City Guide」をクリックしてネット上で市内観光を楽しんだ。ついでに母校の小学校のサイトにも行って、掲示板に書き込みしてみた。反応あるかな。

さて、気分をかえて、お遊びひとつ。お気に入りの検索サイト Google の日本語サイト www.google.com/jp/に自分の名前を入れてみた。じゃじゃーん！自分の名が登場するサイトのアドレスが80件ほど出てきた。うーん、ネットの世界は奥が深そう。

今夜は、ゆつくり寝て、また明日遊ぼう。

Yuka Kajihara
<http://yukazine.com> (Yuka & L.M. Montgomery)



オーロラ

*日本からの購読お申し込みは第一勧業銀行
麹町支店、普通預金『オーロラ』の口座へ
年間購読料、三千円を振り込み、同時に
お申し込み用紙を下記へご郵送願います。

送り先= O'RORA
73 McCaul St., Suite 729
Toronto, Ontario M5T 2X2 CANADA

格安でよい品物をお探しなら当店で!!



小沢カナダ

- ・ ZOJIRUSHI, Panasonic Rice Cooker & Airpot
- ・ Henckel ・ 家庭用品 ・ 電気製品 ・ 日本食品
- ・ メープルゴールドコイン、メープル・シロップ

135 EAST BEAVER CREEK RD. UNIT 3, RICHMONDHILL,
ON L4B 1E2 Eメール: ozawa@instar.ca

TEL (416) 229-6343 (905) 731-5088 FAX (905) 731-0778

カナダ往還

『蟻と』

『観察者』

敗戦後間もない頃、小学校に入
学した我々が聞かされたことは、ア
メリカとの戦争に負けたのは圧倒
的な物資の差によるものであり、又
戦争ですべてを失った日本は資源
もないし将来の見通しは暗い、ずつ
と貧乏なままで過ごさねばならな
いであろうというものであった。

初めてニューヨーク勤務を命じら
れた一九七六年、日本経済は向か
うこと敵無しの輸出競争力で、経
済の面ではやがてアメリカを凌ぐの
ではないかという見方が一般的に
なり始めていた。私には「折角ニユー
ヨークへ来たのであるから、あの戦
争でなぜアメリカに負けたのかを
見つけ出したい。」という願望のよ
うなものがあつた。本当に物量だけ
だつたのであろうか。

さて、その答はなかなか見つから
なかつた。経済では日本がむしろ押

し気味である。もうアメリカに学ぶ
ものはないような風潮すら日本人
の間では一般的になつてきた。

赴任後数年して「ニューヨークの地
下鉄のストライキが始まつた。当時
私は市の東北の郊外の町、
Harrisonに住み、毎朝郊外電車で
グランドセントラル駅まで行き、そ
こからダウンタウンの「Times
Church」の前にある100 Broadway
のオフィスに通つていた。ストで地下
鉄が使えない代わりに、グランドセ
ントラルからペンセントラルステー
ションまで歩き、そこからバスかト
レインに乗ればダウンタウンへの通
勤が可能であるとのことであつた。
ストの開始された当日にはおそろ
しく大混乱するであらうが。

さて、スト当日混乱を予想しな
がらグランドセントラルからペンセ
ントラルへの道を歩き出すと、意外
なことに大勢の人が整然とペンス
テーションへ向かつて歩いている。歩
道の所要所には灰色のベンキを
塗つた木製のバリケードが置かれ、
人の群れは水の流れの如くスムーズ

に流れている。所々には交通警官の
姿が見えるが、混乱は全くなくなつ
た。予想が外れると共に「ああこれ
がアメリカの強さなのか」と思い、
日米戦争の敗戦の理由が見つかつ
た思いがした。

普段は全く気がつかないが、集
団、あるいは全体の動きをクルールに
観察し、それを秩序あらしめる方
法を身に付け実行するエリートが
この国には確かに存在するのだ。そ
れが国家規模でシステムとなつてい
る国がアメリカではないのか。大衆
は各々勝手に動いているが、それを
バラバラの無秩序にすることなく、
全体を秩序あらしめるシステムと
指導者層が厳然と存在している。
それは、丁度我々が小学校で蟻を
ガラス鉢に入れ観察したように、ガ
ラス鉢の中にあるような大衆を観
察しコントロールしているのではな
いか。

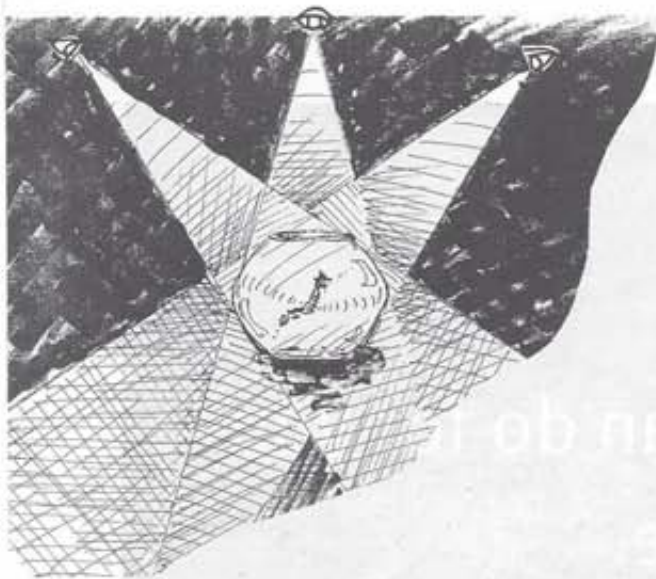
最近発刊された「DAY OF
DECEIT THE TRUTH ABOUT
FDT AND PEARL HARBOR」

足立誠之

Robert E. Stinnet 著は注目すべき
本である。

この本が戦後五十年経つて今ま
で機密であつたアメリカの各種文
書が公開されたものを素材にして
書かれたものである。(すべてが公
開された訳ではない。念のため。)

そこには驚くべき事実が詳しく
述べられている。それは一九二〇年
代からアメリカは日本の無線を傍
受、暗号解読に着手し、日米戦争
の開始に先立ち、日本の外務省、
海軍の暗号は殆ど傍受され解読さ
れていたというのである。一九四
一年七月大西洋側にいるすべての
日本商船にパナマ運河を経由、八
月一日までに太平洋水域に入るよ
う指示があつたが、それを傍受し、
ルーズベルトは七月五日に日本商
船のパナマ運河通過を留めるよう
指示する。パナマ運河で日本商船
は運河の故障を理由に通貨を拒否
される。また、開戦準備のためその
年の九月に入ると、海軍は中国か
ら続々と艦船、航空部隊を内地に
引き上げ、南方作戦のための再編



成に着手するが、その無線も米国は傍受、解読、日本の意図と動きは手に取るようにルーズベルトに把握されていた。真珠湾攻撃前、無線の封鎖(巷間言われていたような完全なものではない。)についての山本連合艦隊司令長官間の無線による指令も傍受、解読され、ハワイに向かう機動部隊も無線傍受、解読によりアメリカ側はその毎日の航海位置を知っていた。

ハワイの日本領事館に属していた日本海軍のスパイ、Morimura Tadashi 氏、(実名は Yoshikawa Takeo) がアメリカ太平洋艦隊の停泊位置と爆撃目標を開戦前日、ハワイ時間十二月六日までに日本に連絡するのであるが、それも米国

側の手に入り解読されていたということである。十一月二五日軌道艦隊はハワイ空襲のため千島工口フ島ヒトカツ湾を出港するが、それを傍受し、アメリカは同じ日北太平洋を指定海域とし連合国の商船の航行を禁止する。機動部隊は連合国艦隊に遭遇することなく、ハワイ北方に到達することが出来、奇襲航空部隊は空母を発艦、真珠湾へ向かうことになる。

Stimson は次のように述べている。

一九四〇年、ヨーロッパの大半はドイツの支配下に屈した。イギリス、そして民主主義はまさに累卵の危うきにあった。イギリスが敗れば、カナダ、カリブ地域の多くがドイツの支配下となる。参戦してイギリスを救いたのであるが、アメリカの世論はそれを許さない。

そこでルーズベルトが採ったのは独伊と三国同盟に入った日本に仕掛けることであった。即ち「to provoke Japan through a series of actions to overt attack on The United States」(日本をしてアメリカに対して明白な攻撃をし向けるべく挑発する。)というものである。

真珠湾攻撃の損害などはそのための代償としてはアメリカにとりそれ程のものではなかったとしている。(日本を如何に挑発し、戦争に追い込んで行つたかは本書に譲るが、日本の行動が総て把握されており、それに全く気づいていない日本との戦争は正に赤子の手を捻るようなものであった。尚、著者はこのアメリカのとうた政策は正しいとしている。)

膨大な資料からこの本は極めて説得力がある。この本で第二次大戦、大東亜戦争(太平洋戦争)の評価も変わってくるであろう。

ただ私にとってこの本が興味深いのは、日米戦争の評価より、当時の日米関係が「蟻と観察者」の関係であったという点である。日米戦争は物量以前の蟻と観察者の戦争だったのだ。勿論、アメリカが過去すべてについて成功している訳ではないことは、ベトナム、イランの例の通りである。

しかし、ある目的を持ち、そのためのシステムを構築した場合のアメリカの力は正に恐るべきものとなる。そうでなくても、特に彼らの蟻

を観察するが如き態度は、過去そして現在の日本人には全く理解を超えたものであり恐るべきものなのだ。

「Japan & No. 1」の時代、日米経済戦争といわれた過去十五年余りもそうであった。パブルを膨らませた、数々の出来事を「蟻と観察者」の関係からもう一度振り返ると、この関係が明らかになってくる。それは正しく第二の敗戦だろうのだ。我々は現在でも蟻のレベルにしか過ぎないことを銘記し、観察者にレベルアップするべく真剣に取り組まなければならない時期に来ている。二度の同じ失敗は国を滅ぼすことになるかも知れない。カルタゴは第三次ポエニ戦争の末、地上から永遠に消滅している。

諺に曰く「井の中の蛙、大海を知らず。」と。また、西洋の諺に曰く「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ。」と。孫子の兵法に曰く「知己を知り、敵を知れば百戦して危うからず。」「勝兵は先ず勝ちを求め、敗兵は戦いて勝ちを求め。」と。

(インドネシア中央銀行、インドネシア輸出銀行特別顧問)

Imagine what we can do for you.
We have.

Canon KNOW HOW™

Canon Canada Inc.

ある日、私の町の町会長さんから電話があつて、国勢調査員というのをやってくれと言つて来た。このルポになるかなという下心もあつて引き受けたら、総理府から五万円貰えるというではないか、五万円に目が眩んで五年に一度日本中が参加する国勢調査に乗り出した。

まずは、市役所の会議室に調査員だけ集められて講義を受ける。三十人位いる中で半数以上は毎回調査員をやっている人で回りを見渡すとジイサン、バアサンばかり、生まれて初めて加わる私は講義もチンパンカンパン、要は調査票を配つておいて十日ほど経つたら回収に行けばいいのだ、と自分に言い聞かせて半分居眠りをしていた。

最後に市の役員が「今まで申し上げたことはこの要項に書いてありますので、それを読めば判るようになっております。」と言う。ナンタそれならそうと早く言つてくれ、二時間損した。「平均五十軒受け持つて頂きます。」と言う割りには私の所は六十七軒。マンションが三つある。ウエーこれは一軒ずつ配り歩くだけで大変ではないか。しかも原則として手渡しをして説明してくれと言う。ポストなどに入れると「受け取つていない」と言われるからだそう

だ。
さて、回り始めてびっくりしたのは殆どの家が昼間は不在。仕方が

東・京・裏・通・信

「国勢調査員に
なつてみた」

尼子三矢子



ないから夜行くと半分ぐらいの家に書類が渡せた。書類は三種類あつて、一つはどう書くかの説明書、一つは何故国勢調査をするかというチラシ、もう一つは調査票、これが今後の日本の役に立つと言うのだが、内容は氏名、年齢、電話番号、学歴、職業、住んでいる家の坪数、通勤に使う乗物、等々。多岐にわたるマークシート方式だ。他人に公開するのが嫌な人はシールで封緘する事もできる。

最初に私が考えていたのは、全戸に配つておいて十日程カナダに遊びに行つて、帰つて来てから集めようという魂胆だったのに、とてもでもないそんな軽いことではなかった。「どうしても受け取りたくない。」という家や、「拒否します。」とパンと扉を閉めたまま出て来ない人や、

何度行つても留守の家があまにも多くて途方に暮れてしまった。説明書を読んでみたら、日本国民の場合、拒否すると罰則があるという箇所を見つけたので、やんわりとそれを伝えて「御協力下さい。」とペコペコを再三やつて受け取つて貰えた。その人達はまだ接触できなかったらよいけれど、朝七時とか夜十二時に行つてもどうも掴まらない人や、突然電話で「何日の何時何分に来て下さい。」と言つて来る人（私はその時はカナダに行つていて、そんな都合よくキチツとその家に行けないんだつてば）、家の中にも絶対に出来ぬ人（電灯がついていて人影が部屋を歩いている）等々に本当に悩まされた。十月一日現在そこに住んでいる人が対象なのだが、どうしても接触できない人については近隣に聞き取り調査というのをしなくてはならない。

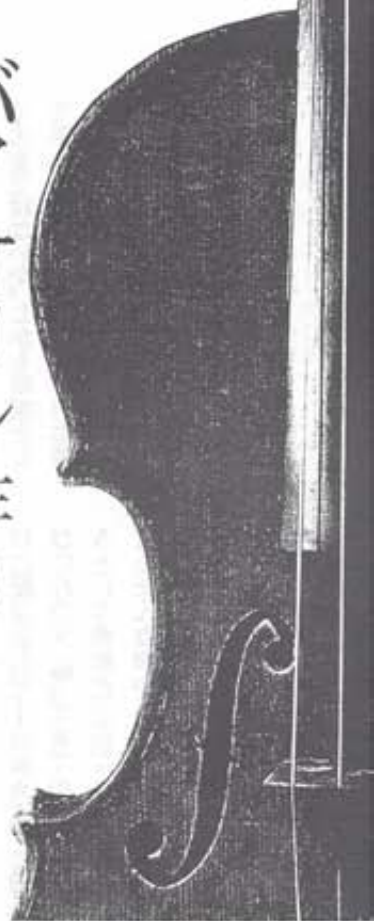
ところがマンション等は隣が誰だかを全然知らないのが現状だ。「親にお金を出して貰つている手前、ここに居ることになつて居るけれど、どうやら隣の学生さんは誰かとどこかで同棲しているらしいですよ。」というには仕方がないから女性の所を黒く塗りつぶしたただけの調査票をうちで作成する。

配るのに一週間、回収に一週間。早朝は私が行けるが、深夜は危険なので夫に行つて貰う。「苦

労様」等と感じよく言われたりすると涙が出て来るくらい嬉しい。そうこうしている間に、どうも提出の締め切り日が来てしまった。市役所には「この三軒の家は十遍以上行つたのですが、どうも留守で駄目でした。」と言つてオズオズ書類を差し出した。「ハイ、それでは市役所の方で何とかいたしましよう。」とアツサリしたものだつた。

「あなたの作製した地図は北と南が逆ですよ。」なんて言われて仕方がないから矢印の下を北にして、「これで勘弁して下さい。」と頼んでみたら「ではこれで完成といたしましよう。国勢調査員のバッジと身分証明書を送したら帰つていいですよ。」と言われた時は、思わずこの一ヶ月の肩の荷が下りてバンザイと言つてしまった。

でも総理府つて何で学歴だの坪数だのが知りたいのだろう。人口調査だけならそんなプライバシーは必要のないにと少々疑問を感じながら、私の感想は「五万円」のうちが支払つてもいいから二度と調査員なんかやらないわ」である。書きたないプライバシーをいろいろ見聞して喋りたくてウズウズしているのだが、調査で得た情報は決して外に漏らしてはいけない事になつていく。でも最後に叫びたい！「私に噛み付いた大め、今度出会うたら私の方から脅かしてやるから！」



バイオリン作り

ひとすじ

欧米で人気を呼ぶ

「イノクチ」バイオリンとチェロ

マサ・イノクチさん

五島宏治



シンシナティ市の弦楽器部門弾き比べ大会で「チェロ・トーン」部門の表彰状を受けたイノクチさん。

芸術の世界には限界というものが無い。同じ楽器を使う人でも、力量に応じて音がよくなる。パソコンなどをいかに操作してみても、機械的な壁を超えることができないのは逆である。その限りない「音の世界」を生むためにの楽器作りにすべを賭けている人がいる。日本からカナダに渡って三十二年になるマサ・イノクチさん。彼が作るバイオリンやチェロは「イノクチ」の名で知られ、いま欧米でひそかに国際的な人気を呼んでいる。

力強く、ハリのある甘美な音色。作られて日が浅く、まだ弾き込まれていなくても滑らかに音が出るという扱い易さ、それに何より、演奏者の気持ちに的確に答えてくれる反応のよさ、などが人気の秘密だ。音に関して、それはいまやどこの国の楽器にもひけをとらない。

例えば、昨年十一月、シンシナティ市で開かれた弦楽器に弾き比べ大会では、チェロ部門の価値ある楽器に贈られる「サートイフィキット・オブ・メリット」賞を与えられた。トロント市で永年ロングランを続けたミュージカル「オペラ座の怪人」では、室内楽団メンバーの半分が彼の楽器を使っていたという事実もある。また、弦の名人会ともいえるカナディアン・グラランド・マスターズ・フイディングで一九九二以来毎年チャンピオンに挑戦し、連続入賞を果たしてきたスコット・ウッズ氏は、九八年のオタワ大会で「イノクチ」バイオリンを使い、見事、一位の金の射止めている。

現代のホールの音響空間にマッチした力を持ち、さまざま演奏家の心を代弁できるような楽器作りを目指して積み重ねてきた努力の成果が、このような形で現れたわけである。新しい楽器ができる、イノクチさんは必ず著名な演奏家



出来上がったチェロを調べるイノクチ父子

にそれを披露し、そこで聞いた助言を次の制作に生かすように努める。チェリストのヤイノシユ・シユターカー、ウラジーミル・オルロフ、パロツク・バイオリニストのデイビッド・グリーンバーク、元トロント交響楽団コンサート・マスターのジェラルド・カントルジャン氏ら、これまでに試奏を依頼したプロの演奏家は百数十人にのぼる。中でも、いちばん力になってくれたのが、オルロフとカントルジャン氏であったという。

演奏家たちは、彼から新しい楽器を受け取ると、時にはものも言わずにひたすら弾き続ける。そして、素晴らしい楽器に出会ったと感じた時、「フラボー」と言って握手を求めたりする。「その一言を聞くまでの数分が私には本当に長く感じ

られるのです。」

それは一つの楽器に注がれたすべの苦心と期待が報いられる瞬間でもある。演奏家と楽器制作者の息の合った二人三脚から生み出されて来たのが「イノクチ」の楽器なのである。こうした自分の楽器がどんなレベルにまで達しているか、その可能性を確かめるためには、それを十分に引き出してくれる最高の演奏家を見つけなければならぬ。しかし各国で売れっ子のソリストともなると、いつでもどこでも会えるとは限らない。

現代ロシアのトップクラスのバイオリニストであるマキシム・ペングロフ氏との巡り合いは、その意味で、むしろ僥倖に近いものだった。ちょうど四年ほど前、トロント市で弦のマスタークラスを開いた彼は、その後のレセプションで、イノクチさんのバイオリンを使って「タイスの瞑想曲」を聞かせ、さらにテレビの録音にもそれを使った。「ストラディバリウスほどの楽器を持っている人が、なぜ私のバイオリンを使ったのか不思議なような気もしました。その理由は彼の楽器の魂柱にちょうど不満があったようです」。ペングロフ氏はイノクチさんに「これと同じ楽器を私にも作ってくれますか」と再度にわたって尋ね、そのたびに彼は「はい」と答えたものの、忙しい二

人はその後、会う機会もなく約束はまだ果たされていない。

ところで弦楽器の名器といえは、普通誰しも思い起こすのが、ストラディバリウスやガルネリらによる古い時代の作品である。それらが、ある時期、クレモナ地方から集中的に生み出されたあと、ばったり名器の輩出が止まってしまったことについて、本当の理由は一般に余り知られていない。イノクチさんは、その理由の最たるものとして、楽器の素材に適した良質の木が欧州で育たなくなつたためではないかと考える。彼をはじめは欧州から輸入した木を使っていたが、なかなか思うような音が出る楽器を作ることができなかつた。ある日、彼がかつて工芸技術を教えていた学校の昔の教え子からの手紙で、カナダにメー

ブルや赤蝦夷松の一種であるスプルースの木が多いことを知り、それまでの教職を退いて、単身カナダに赴いた。しかし、生活の基盤を築くため、実際に楽器の制作を手がけられるようになったのは、それから更に十数年後のことだった。

バイオリンは表板にスプルース、松、樺などの比較的柔らかい素材を用い、裏板には、これより堅いメープルを、糸巻き、指板には黒檀を使う。空気が乾いたカナダでも、表板は、原木を切り出してから五年、裏板は十年ほど乾燥させなくては使いものにならない。ストラディバリウスにはバルサムと呼ばれる液状樹脂を含んだ樺の木が使われているが、この種の木は十九世紀の半ば、欧州からほとんど姿を消してしまつたという。カナダには確かにメープルの木が無数にあるが、

このうち、弦楽器に加工できるのは、断面に渦巻き模様の木目があるカーリー・メープルだけ。だから楽器に使える木は千本に一本くらいしかない。

イノクチさんがカナダでそれに巡り合うまでには実に十二年もの歳月がかかった。それは、ある製材工場の片隅に無造作に放置されていた代物だった。しかしこのように手間、暇をかけて見つけた木でも、中をひき割ってみると、全部が楽器に使えるとは限らない。彼は音叉でコツコツと木を叩いて共鳴の度合いを調べ、音の出る部分を見つけ出す。「楽器作りに大切なのは、先ず材質を見る目、それに全体のバランスを考えながら、素材を生かし切る力でしょうね。」という。厚木を切り出す作業から数えると、一つの楽器が完成するまでに、優に十年以上がかかる。「ローマは一日にして成らず」の言葉がそのまま当てはまるのが楽器作りの仕事なのである。

生まれは大分県で、昔、自宅にも父親が弾いていたバイオリンがあったという。しかし、実際には楽器制作の手引きをしてくれたのは、かつて彼が勤めていた工業高校の先輩教師であった。「樹木は切り倒された時点で、その生命を終えるが、



オルロフ氏の意見に慎重に耳を傾ける

その後、数百年にわたって、人々の心を打つような楽器に生まれ変わらせてやるのが、木を活かす一番の方法でしようね。」と教えられたという。

イノクチさんの長男も、今は彼の片腕として活躍している。その息子には、木が生み出す美しい音の調べに願いをこめてミキ(美樹)という名を、長女にはさらに美を加えるという意味のミカ(美加)、次女には美を極めるミオ(美央)という名を付けた。音の世界で一貫して美を求める彼の姿勢がそこに現れている。(イノクチさん自身の日本の戸籍名は猪口正敏であるが、カナダでは「マーサ」の名で呼び親しまれている)。

こうした新しい時代の楽器の性能が今日、果たしてどのようなレベルに達しているかについて、一つの実験がある。ニューヨークのバイオリン制作技芸学校のディレクター、ケ

リー・ポイン氏は新、旧のさまざまな楽器を使った演奏をカーテンで仕切った部屋の向こう側にいる人たちに聞かせたが、正しく楽器を識別できた人はいなかったという。

もちろん、これにはまるで理由がないわけではない。先に触れたシンシナティ市での大会などの国際的な催しを通じて、各国の楽器制作者の間で、知識や技術の交流が進められ、ここ数年、水準が急速に高まっているためである。この大会に由来から出品された楽器や、その付属の部品は約四百八十点。チェロは四十八点が参加し、イノクチさんの作品は「チェロ・トーン」の部門で、音のベスト5に選ばれた。

しかし、現代の演奏家たちの世界において、古楽器や過去の演奏の名手が使った遺品などは、実用性以上の「信仰の対象」になっていると言えなくもない。オルロフ氏も、若い頃は古楽器の愛用者の一人であったが、「イノクチ」チェロに出会う

て以来、すべての演奏をこれに切り替え、弟子たちにも奨めてきた。モントリオール・ガゼット紙の評論家、アーサー・カプテニス氏は、この問題を捉え「新しい時代のバイオリン作者たちが、クラシック・バイオリンの音質に挑戦するのは時間の問題であろう。」と述べ、オルロフ氏が「イノクチ」チェロを日本に紹介したことを例として挙げている。

この絶えざる音への挑戦についてイノクチさんはこう語っている。「これまでの私のねらいは、楽器を売ることより、どこまで音を極められるか、ということでした」と、彼にとりて楽器は、自分の分身ともいえる苦心の結晶だけに、そのアフター・ケアも大きな関心になっている。ピアノの調律と同じように弦楽器も、時にはブリッジや魂柱の位置などの微妙な調整が必要になる。彼は、そのための道具を携え、暇のある限り自分の楽器の嫁ぎ先を回る。オルロフ氏の欧州や日本での講演にも同行した。それは、必ずしも経済的に酬いられる仕事ではない。

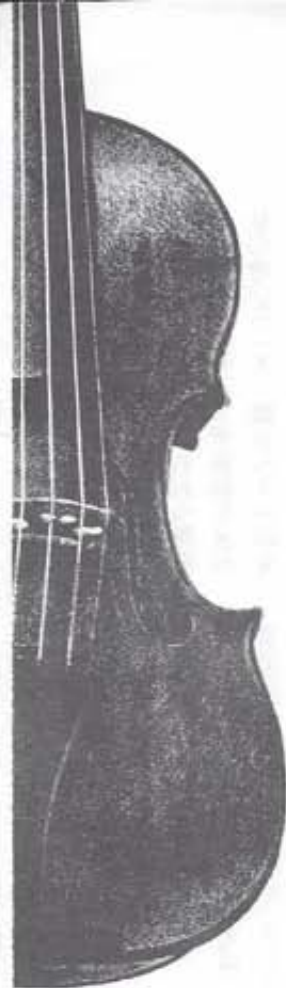
二〇〇〇年二月のこと。ホールを使つて音のテストも行い、彼が相当自信をもっていたバイオリンにニューヨークでクレームがついた。楽器の購入者がその教師から「もう少しパワーがあつて、クリアな音のする楽器の方がいいだろう」と言われた

のが原因だった。調べてみたら、その魂柱が別のものに替わっていることが分かった。これを元に戻して調整し、ニューヨークフィルのコンサートマスター、グレン・ディクトロフ氏に弾いてもらったところ、演奏者自身も驚くほど冴えた音になり、マンハッタン・スクールの当の教師からも「これなら……」という折紙をつけられたという。

「現在、世界的に名の通っている一流の奏者は、大抵、一つや二つの名器を持っています。私が期待をかけているのは、いま各地の一線で活躍している若い人たちです。シンシナティの大会に参加してみても分かったことは、最高の楽器の評価を得るためには、工芸美術的な仕上げよりも完璧なものでなければならぬ、ということでした。」

彼にとつて今後の課題は「音」と「形」の二つの面から、楽器の芸術性を追求して行くことのようにだ。こうして若い演奏家たちが手にする「イノクチ」が数百年を経た後、二十一世紀の名器として愛奏されるような日が、あるいはやってくるのかも知れない。

(イノクチさんの連絡先は、Misa Inokuchi, 1391 Danforth Ave., Toronto, Ontario, Canada M4J 1N2 Fax 416-461-2021)



お好み焼き屋さん.....

バンクーパー

『モダンクラブ』の佐々木晴子さん

長い一生の間に、ある日突然、今までとは違った別の事を始めてみたいと思ったことはありませんか。そう思っても実行に移すことは難しく、たいていの人は考えるだけで終わってしまいます。でも、それをきちんと実行した人に出会いました。バンクーパー、プリティッシュ・コロンビア大学に近いダンバー・ストリートでお好み焼きレストラン、『モダンクラブ』を経営するシエラの佐々木晴子さんです。



大阪の中流家庭の主婦から二年半前、一転してカナダのお好み焼き屋さんの経営者へ。

「旅行で来て、バンクーパーが気に入りました。おだやかで、いろいろな人種が共存していて、それにある程度安全です。違ったライフを歩いてみたいと、いきなり脱皮したくなつて、家族を残して単身やつて参りました。」

会社員の主人の転勤が多く、国内で何度も動き回った。二人の娘さんは大学を卒業、社会人になつたので、留守宅を任せている。

「主人は学生時代から山男で、世界中の山を歩き回り、年間三十日は山にこもっています。今年引退しますが、彼には彼の夢があり、これは私のビジネスです。」

転勤が多く、今まで何も専門性が持てなかった。しいて云えば子育てが専門だった。子育てを終わった今は自分のビジネスを持つ、ときっぱり言い切る佐々木さんである。

「なぜ、お好み焼き屋さんを選んだのですか?」とうかがうと、

「大阪の出身ですから」という答。

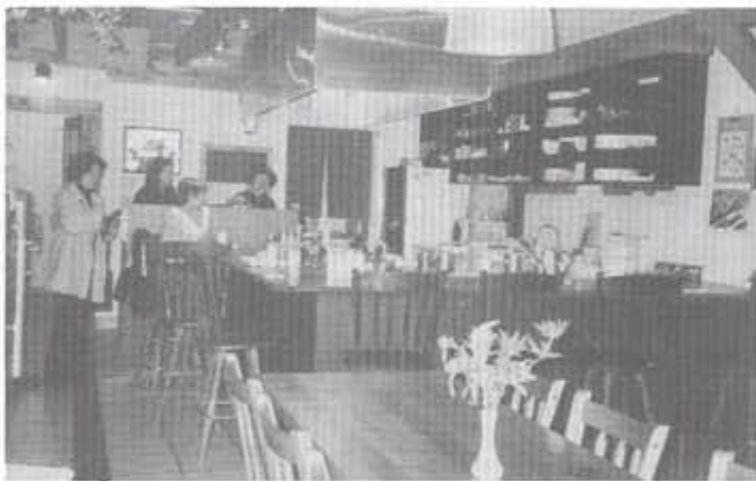
「このお好み焼きは、ドウが少なく、きざみキャベツなど野菜が多く、軽くてヘルシーである。お勧め品、カキのお好み焼きは絶品。こんにやくとネギのお好み焼きも素朴でお馴染みだ。カナダの人が好きなのはサーモンのお好み焼き。ソースは市販六種類を合わせた特製ソース。カナダ人のお客が多いので、お好み焼きだけでは成り立たず、焼きそばも作れば、てんぷらも揚げ、巻きずしも巻く。テイクアウトのオーダーも入るので忙しい。」

カウンターに座つて目の前の鉄板で、焼けるのを待つていた。極上ペーコンとたつぷりの野菜、キムチ入りの焼きそばもおおいそう。お好み焼きが焼き上がるまで三十

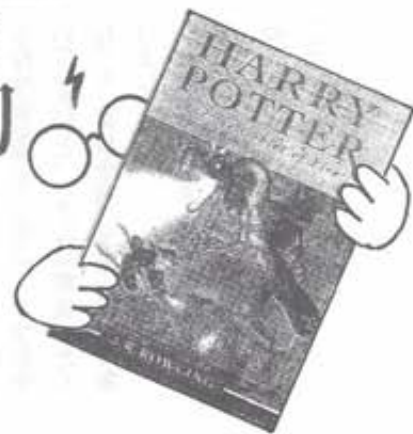
分近くかかる。アイロンのような重石を乗せて焼く。カウンターの前でオーダーしたお好み焼きが焼き上がるのをゆつくり待ちながら、おしゃべりするのが楽しい。

週日は大学関係のお客が多く、最近ではお好み焼きだけをオーダーする人も増えてきたそう。お好み焼きがカナダ人に浸透する日は近いかも知れない。

Modern Club: 3446 Dunbar St.
Vancouver, B.C.
Tel/Fax 604-739-0170



子と感動の魔法の世界



☆ 雄 ☆

●『ハリーポッター』の生みの親 JKローリング 朗読会経験記

正直のところ、最初は周りのざわめきの煩さにうんざりしていた。トロント市の中心にあるスカイドームの中に設えられた特設ステージの上では、カナダ人の児童作家が朗読しているというのに、子供達の話し声でよく聞き取れないのだ。

雨の降るその日、JKローリング

の朗読会が行われることになっていった。彼女は世界中で驚異的な売上を記録した児童小説『ハリーポッター』の生みの親である。今は前座の作家の朗読中。目の前に座っていた女の子ふたり組みは、舞台の様子はそっこのけでお話の真つ最中。

「あたし今二回目読んでるのよ」と

栗毛の子。

「そうなんだ。ねえ、今度家に犬がくるの」とメガネの子。

「ホント！名前付けた？」

「まだ。今考えてるよ……」彼女たちの世間話は続く。

少々うるささに頭にきつつも、まあ、しかし子供なのだから致し方ない。おしゃべりは彼らの専門特許なのだからと、半ばあきらめ気味にくらか音割れ気味にスピーカーから流れる物語に耳を傾けていると思いがけない光景を目にした。

前座の作家の朗読が終わわり、いよいよ本日の主役が現れると、子供たちの大歓声に大気が揺れた。同時に金髪の小柄な女性がステージに上がり、静かに語り始めた。そして次の瞬間、音が消えたのである。

薄暗い会場にローリングの語る魔法の世界だけが響きわたった。話し声一つしない。

いま子供たちが夢中になっているのは、最新式のテレビゲームではない。

本、おびただしい数の文字が並び本なのだ。

それは本当に魔法を見ているかのようだった。

一九九〇年、マンチェスターから

ロンドンに向かう汽車の中で、シングルマザーだった貧しいローリングの頭の中に最初のアイディアが浮かんでから七年後、作品が刊行されるや一五〇万部を売り上げた。今回の第四巻だけ見てみると、米国で発売された初版だけで三八〇万部、英国で一五〇万部、第一巻からの三年間だけで実に四億八千万ドルを稼いだといわれる。驚異的である。「ザ・ファーム」を書いたグリシャムでさえ初版は二五〇万部がいいところ。ちなみに日本では部数が五桁に行くだけで『ベストセラー』と呼ばれるのだから、この本が業界でいうところの『オバケ』と呼ばれても納得がいくものである。

蛇足になるけれども、もし日本のように印税を計算したりすると、作者が出版社からもらえるのは大抵一律十%、今回の最新刊が三十五ドルだから、一冊につき三ドル五〇セント入るとして、5.5×三八〇万部十一五〇万で、千八百五十五万ドルである。うーむ、恐るべしローリング女史……。将来、僕もあやかりたい。(しかし、世界のナンバーワン・ベストセラーはなんといつても聖書である。こればかりは誰もその記録を敗れないだろう。)もつともこれは例外中の例外と考えると良いかも知れない。こんなに

本が売れるというのはそんなにないことなのだ。ただ、今回のこの驚くべき数字は不況にあえく出版業界の救世主になるかもしれないとある出版関係者は言う。考えてみれば、活字離れが叫ばれている世で、少なくとも六百万人近い子供たちが一つの本にくぎ付けになったのである。これはおおよそワシントンD.Cとオタワとローマとウィーンの人口全員にあたる。うーむ、こう考えるとさらにあなたとれないローリング女史である。

静けさの中で、物語を聞いているとふと思いついたことがあった。

小学生のときに担任だった先生のことである。まだ若い女の先生で、色が白く、話し声がとても上品だったことを覚えている。もともと病弱だったのか、何度かの休暇の後に退職してしまい、担任だったのはわずか二学期だけだったように思う。

ある日、音楽の授業中、些細なことからクラスが騒がしくなった。なんでだったか忘れてしまったのだが、最初はささやく程度だったが、次第に話し声が大きくなり、やがて廊下に響くのではないかとはいくくらいになった。

「静かに！」先生、少し声をあげ

る。でも、クラスの中は騒がしさが増すばかりだ。

「静かにしなさい！」二度目の声でも鎮まらない。それどころか余計に大きくなっていくようだ。綺麗な先生だが怒ると怖いのである。僕はちらりと先生の顔を見た。先生が息を吸い込むのが見えた。…怒

鳴るぞ…と、思った瞬間、聞こえてきたのは「エーデルワイス」の歌声だった。それは今まで聞いたことのない美しい音色だった。

一気にクラスは静かになり、クラス中の生徒が聞いていた。今でもその歌声がかすかに耳元で流れることがある。初めて「感動」

というものを知った日だった。目の前の二人は物音一つ立てなかった。ただ、静かに物語の中に耳を傾けている。僕は昔のことを思い出しながら二人組みの小さな頭から目をそらすと、物語の語り手に視線を戻したのだった。



Bridgestone Blizzak

Confidence you'll get out of the way.

Of course no tire can guarantee perfect traction in all snowy and icy situations, but one comes close. Bridgestone Blizzak® tires have been developed using multi-cell rubber compounds that act as small suction cups to allow the tire to grip the ice and hold it to the wet surface. This multi-cell technology combined with Blizzak's unique tread design evacuates the layer of water between the tire's footprint and the icy surface to provide traction when you need it most - accelerating and braking. So, next time you see 10 tonnes of metal in your side view mirror, you'll be confident that Blizzak tires can help you get out of the way.

Superior snow and ice traction are now available in a wide range of sizes for passenger vehicles, performance cars, sport utility vehicles and pick-up trucks.

BRIDGESTONE
BLIZZAK
Sticks to Ice

®Trademark of Bridgestone Corporation. © used under license.

裏千家トロント支部主催

『秋のお茶会』から

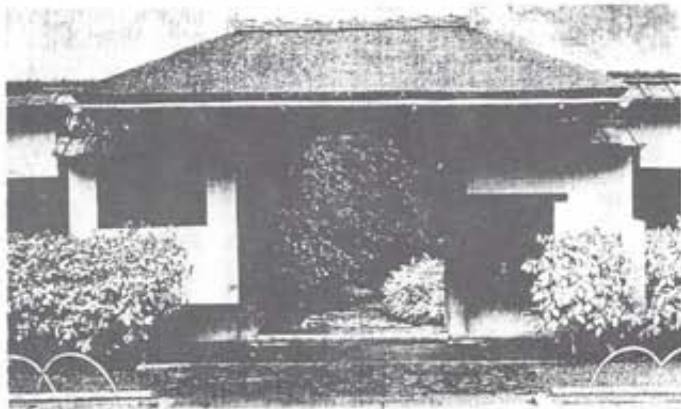
裏千家トロント支部主催で毎年開かれる「秋のお茶会」にうかがって、しっとりとした秋の気配のなかで一服頂戴することは、日頃「お茶」に縁のないガサツな生活をしている我々にとって、年一回心が洗われる貴重な機会です。昨年はアクセスジャパン二〇〇〇の参加行

事の一つとして十一月はじめに日系文化会館で開かれました。

裏千家の高弟、裏千家ニューヨーク出張所所長の山田直(ひさし)先生の「お茶の心」についての講演を拝聴し、ホールの一隅に設えたお茶席でのお点前を拝見します。その後別室で、裏千家トロント支部の新照子、馬場和子、勝谷由美子、三教室の門下生の方々のサーブスにより、お茶をいただきました。

今年もお友達のSさんと一緒に、袱紗さばきも忘れた昨今ですが、「お茶はやっぱり落ち着くわね。」と、さつぱつとした日常をひととき忘れて、お薄を味わいました。オタワのカナディアン・ナショナル・ジオグラフィックから特集「トロントのビジュアルマジORITYテイマインロリティーではないのです」の取材に来ていた若いカメラマン氏も勝谷先生の「指導で生まれて初めてお抹茶をいただき」これはオイシイ！」と嘆声をあげていました。

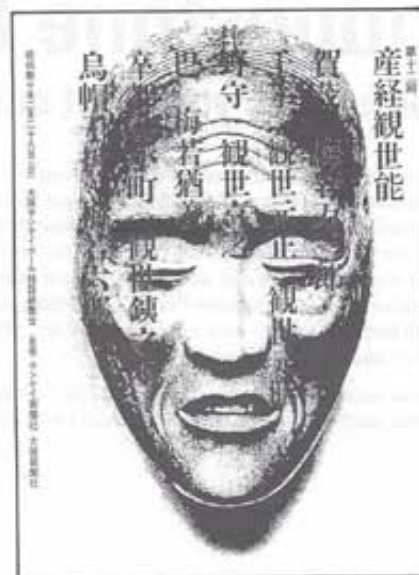
写真上は裏千家今日庵の兜門



現代デザインと伝統文化

田中一光ポスター展

山本 博



第十二回産経観世能:1965

現代日本を代表するグラフィックデザイナー田中一光のポスター展がアクセスジャパンの企画の一つとして十月十二日から十二月二日まで国際交流基金トロント日本文化センターで開催され、代表作六十点が展示され、日本文化に関心のあるカナダ人、グラフィックデザイン関係者、デザイン学生の間で話題になった。

荒唐した敗戦後の日本の飢えた生活はおよそデザインとは無縁の状態だったといえる。しかし経済の

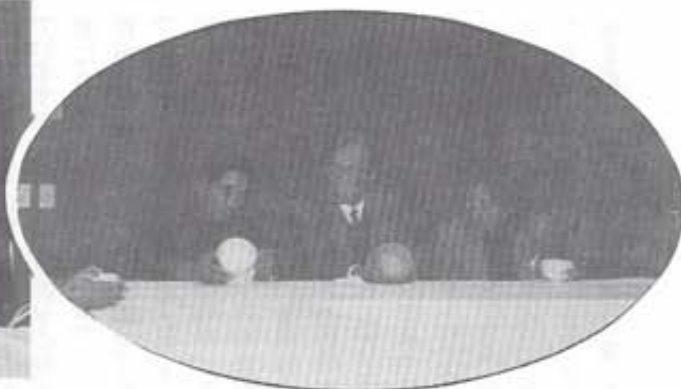
復興と共に一九五〇年代の半ばから早川良雄、原弘、亀倉雄策、山城隆一といった作家性の強いデザイナーが出てきた。また、評論の勝見勝は「季刊グラフィックデザイン」という雑誌を出版し、その評論活動によってデザインの普及、啓蒙につとめた。

一九三〇年奈良に生まれた田中一光は京都でデザインを学び、一九五七年上京した。勝井三雄、杉浦康平、永井一正、福田繁雄など、同世代の多くのデザイナーた

会場にうつらえられた即席お茶席での
お点前



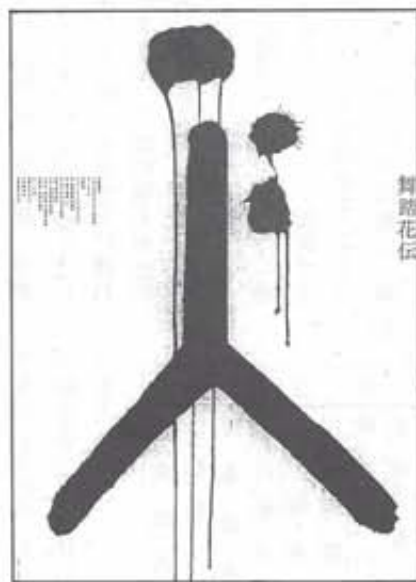
下はお薄をいただく、
右下はお茶碗を拝見



ちが日本の情緒を振り切つて、明快な抽象造形や自由な発想によるモダンデザインを展開させる中、彼は日本の古典に見られる伝統の美や日本の文字書体を独自のデザイン感覚で現代のグラフィックデザインとして創り出し、世界のデザイン界から注目を集め、高い評価を得ている。

ポスター制作の中で告知の要素としての文字、その文字を主体にしてデザインした「産経観世能」シリーズ。色数などが限定される印刷デザインという制約の中で、艶のある黒と沈んだ黒による「墨（すみ）」の味、毛筆による滲みや掠（かす）れを生かしたモノクロームの味

わいのある「モリサワフォント」のポスター。鮮やかでありながら柔らかな色彩、いわば日本の伝統色ともいえる色の組み合わせによる色彩に対する感性の高い西武劇場や草月会館、国立劇場での催し物ポスター。漢字、ひらがな、カタカナ、英語、仏語のアルファベット書体と、複雑きわまらない現代日本の文字コミュニケーション、文化の二重構造の宿命を考えさせられる「日本のタイプグラフィックデザイン」、世界の文字を研究した「人間と文字シリーズ」など時代意識を持った現代の版画ともいえるポスターが印象に残った。（日本画家）



舞踏花伝:1996

自然と共に生きる知恵

中国伝統医学入門

後藤順子(RNCP)



いよいよ二十一世紀になった。過去百年は産業革命とともに、高度技術が飛躍し、経済的に豊かになった一方、環境は汚染され多くの植物や動物たちがこの地球上から消え去りました。「私達は、本当に幸せになったのだろうか？」電気やガスや水道さえも全くない時代、満天の夜空を見たり、風や雨の音を聞き、いつも死と隣合わせにあつた古代人達にとって自分達も他の動物と同じように自然の一部であり、全宇宙の構成要素の一つに過ぎず、「生きる」という事は、自然に順応することだと理解していました。

今回は、科学やテクノロジーに頼つたために私達が忘れてしまった「自然と共に生きる英知」を、中国伝統医学の一部を通して、紹介しましょう。

中国伝統医学とは、生薬による薬

物療法と鍼灸、按摩、気功などによる物理療法、薬膳などを含みます。

【歴史】

「中国四千年の歴史」とよく言われていますが、実際、中国医学の歴史は更に古く、痕跡は新石器時代一万年程前に作られた石の鍼にまで遡る事ができます。現代の中国医学の基本は、紀元前三〜二世紀の前漢時代に先秦時代から蓄積された医学の知識がまとめられた「黄帝内経」で、後漢時代に張仲景による「傷寒論」と「神農本草経」と共に中国医学の三大古典と言われています。五世紀以降、日本や韓国に徐々に紹介されていきました。近代、中国に西洋医学が紹介されると、中国医学は急激に減少しましたが、一九五六年、中央政府が共通のテキストの作成を指示。鍼灸と湯液(漢方薬)を結

ぶ統一理論並びに、陰陽五行説を中心として復興が始まりました。現代、中国では三十以上の大学で、数千の学生が学び、修士や博士課程の学生も二千人を超えています。又、海外でも百五十ヶ国以上で治療が行われています。

【陰陽説】

陰陽説が、いつ頃から在ったのかは正確には分かりませんが、紀元前十六世紀から紀元前七世紀頃に形成されたと考えられています。陰と陽の概念は古代中国の哲学の一部であり、物質界を観察し分析する方法でした。「水」と「火」は陰と陽のシンボルで、陰と陽は相反するものですが、お互いに依存し合い、お互いを消耗しながら、支え合っている。又、場合によっては陰と陽が入れ変わる事もある。陰と陽は確定したものではなく、相対的なものであり、それぞれ無限に陰と陽に分析する事ができます。生命が活動している間は、決して、陰と陽が別々に離れることありません。重態の病人が死の直前に突然、状態が良くなり、元氣になつたりする理由は、陰陽が分離し、体から最後に残つた陽が抜けて行く過程だと考えられています。中国医学では、陰と陽のバランスを調整する事で、人間の体に本来ある自然治癒力、抵抗力、生命力といった人間の回復力をつけて病気を治そうとします。

【五行説】

これも古代中国哲学の一部であり、紀元前十一世紀から紀元前二百七十年の間に完成されました。五つの要素とは、木火土金水で、自然界も、人間の体も、この五つの性質で統一されています。木は樹木がその枝葉を伸ばすように、柔軟に伸び広がる性質、火は炎や熱にみられる性質、土は多くのものを、土の中で育てる性質、金は透明で乾いた性質、水は下方に流れて、固まる性質を持っています。季節、方角、時間、穀類、色、味、体の機能、臓器、感情の変化、体の感覚器官など人間の体の全てにわたるまで、五つの性質に分けられます。これらの五つの間に生じる相互関係の中に、助ける母と子のような「相生」と、夫と妻のように抑制する「相克」があります。

「相生」と「相克」の関係の中で、五つの要素がその大きさを強めたり弱めたり変化しながら、お互いの行き過ぎや消滅を防いで、全体のバランスを保っています。

木	春、東、風、青、酸、肝、胆、目、筋、怒
火	夏、南、暑、赤、苦、心、小腸、舌、脈、喜
土	土用、湿、黄、甘、脾、胃、口、肉、考、歌
金	秋、西、燥、白、辛、肺、大腸、鼻、皮毛、悲
水	冬、北、寒、黒、鹹、腎、膀胱、耳、骨、怖

【藏象学説】

中国医学では、人間の主な体の臓器として六腑と六腑に分類し、腑は心臓、肺臓、脾臓、肝臓、腎臓、心包で、六腑とは小腸、大腸、胆嚢、胃、膀胱、三焦を指しています。三焦とは胸から腹を三つに分けた名称で上中下と分かれています。腑と臓は内部外部に及ぶ相互関係を持つていて、腑は直接水や食べ物が入るところで、ここで処理された純粋な物質が臓に運ばれ体の機能が維持されています。

藏象学説は人間の機能を五つの臓器に割り当てて考える方法です。殆どの臓器は、解剖学的な臓器をさす名称ではなく、体の中の働きを五行説での五の属性に分けて、それぞれの働きに対して各臓器を代表させて分類したものです。その分類において、西洋医学と共通する部分もありますが、大体は西洋医学の視点よりも広い範囲や、時として全く異なる機能を定義されています。

☆心臓 (火)

西洋医学でも定義しているように、心拍動や循環の原動力としての働きを担っていますが、同時に意識や思考などの精神活動する部分も心臓の働きとして捕らえられています。舌は、色や表面の状態を診るることによって心臓の状態を診断するときの大切な場所となります。心臓の機能が悪くなると顔色が悪い、手足が冷える、立ちくらみ

などの循環障害に関連する症状の他に、夢を多くみるなどの睡眠障害がみられます。

☆肺臓 (金)

呼吸を通して「清気」を体に補充する働きは、西洋医学での肺の機能と共通しますが、中国医学では、体液を体に散布する役割や、皮膚の調整、外敵からの防衛機能などを担っています。肺の機能が異常になると、咳痰や呼吸困難、息切れ、喘息などの呼吸症状、さらに、浮腫や尿量減少、排尿障害などの水の代謝に関する症状やアトピー性皮膚炎、鼻炎のアレルギー性疾患にも関係し、風邪を引きやすいなどの免疫に関係した症状も多くなります。

☆脾臓 (土)

脾臓は、西洋医学で考えられているように、胃と共に、消化吸収に関する働きを担っているだけではなく、飲食物から選り分けられた体に必要な物を、体内に配る働きも含まれています。脾臓は口に出口を持っていると考えて、食欲や味覚を左右するとしています。食生活を始めとする生活習慣の悪さのために脾臓に負担を掛けると、生命力の補充を阻止し、病気の原因となります。中国医学では、脾臓の働きをいかに健全に保つかは、最も重要な課題の一つです。

☆肝臓 (木)

肝臓は、西洋医学での胆汁の排泄に

加え、体の気の流れが、順調で伸びやかであるように調節する働きがあります。又、感情の調節をする働きも含まれ、イライラや、怒りっぽいなどの、感情の不安定と関係しています。他にも、血の体内での分配を調節する働きもしているので、女性の生理機能にも関係しています。肝臓の外界への出口は目と考えられており、視力や目の充血などと関係しています。

☆腎臓 (水)

腎臓は精を貯蔵し成長と生殖を担います。精は気と同様に生命活動に不可欠な物質です。精は両親の形質を受け継いだ先天的なものや日常の食べ物から摂取される後天的なもの二種類があります。前者は加齢とともに減少してゆき、後者は前者の不足を補いまして、これらの精は、骨髄の構成成分になり、体の成長を促進します。又、腎臓は水の代謝を調整し、肺から新鮮な空気で作られた気を受け取ります。もし、この機能がうまく働かないと呼吸機能が異常になります。又、生殖機能とも関連しています。腎臓の出口は耳で異常がある場合は、難聴や耳鳴りやめまいを起しやすくなります。腎臓の機能を落とさないためには、過労や精神の酷使など、体に過酷な状況を作らないこと、早い時期からの性行為を避けることが大切とされています。

【気と血と体液】

気と血と体液は体を正常に保つためには必要不可欠なものです。気とは古代の人達にとっては、宇宙を構成する根本な物質ですべての現象は気の変化と動きにより創造されていると考えられていました。又、内臓は、各々の気を持ち、経絡で結ばれ血とともに体内を循環しています。体液も血液も気がなくては、全く動かないのです。陰と陽も気の一部であると考えられています。

中国医学は古代の人達の自然観察と数千年にも及ぶ長い年月の経験と人間の英知により発展してきました。そして、細分化された現代の西洋医学では扱えない、眼に見えないものや、時間的変化といったものを扱うことができ、体にある自然治癒力を引き出す事を治療の目的としています。

二十一世紀は細分化するサイエンスとは正反対の宇宙規模の全体のバランスを考える東洋思考の大切さを見直す時代ではないでしょうか。

参考文献 ・ The Fundation of Chinese

Medicine by Giovanni Maciocia ISBN

0113039801.

電子メール gotocom@antglobal.net

プライス・ウォーズの ワン・コイン・ショップ



高中公男

トロントでいえばヤング・ストリート界限を賑わす「プライス・ウォーズ」、「ダラー・ショップ」などといえ、デイスカウント・ショップである。「プライス・クラブ」などのような会員制のものもあれば、いわゆる量販店も、最近では「価格破壊」という形容詞で説明されるような販売戦略を採用している。これは日本でも「オープン価格」なるものが定着してきたことと無関係ではない。従来は、商品にはほぼすべて「標準小売価格」なるものが付けられていた。つまり、価格はある程度まで設定されていたことになる。それが価格競争の激化の中で、メーカー自ら価格設定方式を変えたというのが最近の動きではなかろうか。

そうした販売競争激化、価格破

であろうか。新製品というよりは、「さつきまで使っていてなくなつてしまったから……」というニーズを適格に捉え、しかもそれを均一価格で提供しているわけである。従つてセツクく買物に來たのだから、「もうすぐなくなりそうだから……」という潜在的な消費も刺激することになる。そこには目新しさは必要ない。ある意味で「日常性」、「手軽さ」、「気軽さがコンセプトということにならうか。

こうした「ワン・コイン・ショップ」の躍進ぶりについて、消費者センタ―では、「均一価格で買物物の計算が容易であること、日常必需品を広範囲に扱っていること、普及品が中心であることが、こうした業態が支持されている背景ではないか」と分析している。

確かに利用者の声も、「均一価格で買物物の計算が簡単」、「ちょうどだけ、急に必要なものが買える」などが大勢を占めている。また、「安いし、必ず必要になることが分かっているから、当初の予定以上に余計なものまで勝つてしまう傾向が多い」という声もある。消費者の心理をうまく捉えていることが、こうしたコメントに現れている。

経済学的見地からすると、この「ワン・コイン・ショップ」は規模の経

済性を巧みに利用していると言える。新製品は開発費用ないしは設備投資などの初期費用としての固定費があり、価格体系は固定費を反映したものにならざるを得ない。しかし、いったん普及してしまつた後は、固定費が価格設定に及ぼす影響はほとんどなくなり、大量生産によるコストダウンと低価格が実現可能になる。つまり、「ワン・コイン・ショップ」が特に新製品でなく、普及品を中心とした品揃えで、しかも大量生産に適した日用雑貨を中心としていることは、経済原則からいつても合理的な戦略であることになる。かつては、デイスカウント・ストアというと、差し押さえ物件、物納品の競売もの、闇ルート等、その流通経路に悪いイメージがあつたが、「ワン・コイン・ショップ」にはこうした流通経路の不透明性もない。「クリーン」なイメージという言い過ぎかも知れないが、少なくとも悪いイメージでないのも、広範な客層から支持を得られた背景であろう。巨額の宣伝費も掛けず、特別な店舗構成も必要ない新しい業態は、従来型の小売形態に静かな革命を起さそうとしているようである。(拓殖大学教授、同アジア情報センター所長)

報センター所長)



太郎フィッシュ 秋山太郎

寒さの厳しい季節です。雪の降る夜は温かい鍋を囲んで アンコウ鍋、牡蠣(かき)鍋など、最高ですね。

アンコウは鍋と一緒にアンキモも召し上がって下さい。汚れを取り、塩をして、酒蒸しにしてポン酢でいただきます。

牡蠣が本格的な季節になりました。生牡蠣、酢牡蠣、フライ、土手鍋、何にしてもおいしい。牡蠣は四種類扱っています。肉厚で大きいのがバンクーバー産の牡蠣で、料理用に適しています。ロードアイランド産とロングアイランド産の牡蠣は生食用。ミルクキーでクリームでこくのある味の牡蠣です。プリンスエドワード島、ノバスコシア、ニューブランズウィックのカナダ東海岸の牡蠣は米国東海岸産に比べて味があつさりしている。生牡蠣の場合はこちらの方が食べやすいという方もいらっしゃいます。これは好みですね。

冬の味覚、牡蠣(かき)鍋、アンコウ鍋、春先は貝、ツブ貝のさしみなど最高

鍋物では、昆布と牡蠣を入れて煮立て、ポン酢でいただくというあつさりとしたものから、みりんで溶いた赤味噌を鍋の周りに土手のように置いて、中で牡蠣、豆腐、糸こんにゃく、野菜類をだして煮て、味噌をくずしながら味を付けて食べる冬の味覚、土手鍋があります。

お総菜魚の銀ダラはアラスカの冷凍物です。脂が強い魚なので、西京漬けにしたり、煮魚にします。冬から三月までおいしいのが貝類です。アサリ、ハマグリ、ミル貝などが登場、食卓に変化を付けてくれます。アサリ、ハマグリは酒蒸しにしたり、お吸い物にしたり、あるいはむき身にして、ぬたやチャウダーにしたり、多様な調理方法で楽しめます。貝の中でも刺身にしてコリコリしておいしいのがツブ貝です。アワビに似た歯ざわりで、新鮮な季節の味がします。

TARO'S FISH



営業時間

火~金	午前10時~午後7時
土	午前9時~午後7時
日	午前11時~午後6時
月	定休日

刺身、鮮魚、干物、冷凍品
Tel: 905-944-1377
Fax: 905-944-1306
3160 Steeles Ave. E., Unit 6
Markham, ON L3R 4G9
J-Town (Town & Country北側)



山本博絵画教室

HIROSHI YAMAMOTO JAPANESE ART CLASS

- 墨絵・日本画・デッサン・水彩画・絵手紙の描き方
- 初歩から上級まで楽しみながら学べます。
- 少人数のグループレッスン、出張ワークショップ致します。
- 詳細、お問い合わせは TEL/FAX (416)964-3985
178 Avenue Road, Toronto. c/o Gallery T・O・R・A

裏千家トント教室

新 宗楓

8 Dallington Drive
Willowdale, Ontario
M2A 2G3 (416) 493-6776

オーラ

*日本からの購読お申し込みは第一勧業銀行 麹町支店、普通預金『オーラ』の口座へ年間購読料、三千円を振り込み、同時にお申し込み用紙を下記へご郵送願います。

送り先= O'RORA
73 McCaul St., Suite 729
Toronto, Ontario M5T 2X2 CANADA

『オクイさん』

小野正治

その日は魔の十三番ホールを九オン、三パットとした。十番ホールでとつたバーが熱く焼けたフライパンに注いだ水のように消えていくような気分だ。ここまできて既に十二オンバーになっていて、合格点の五十二は十七オンバーバーだから、残りの五ホールを五オンバーバーにおさめないといけない。

十三番ホールが終わると茶店がある。四、五人が並んで飲めるカウンターがあるだけの小さな店だ。キヤデー達は裏に回つてのどをうるおすのだが今は前後にだれもない。私たちは一緒にカウンターに並んだ。

「オクイさん、何を呑む？」

「ライムジュース」

「オーケー、ツイ、フレッシュ・ライムジュース、プリーズ！」

南国とはいえ、五時近くになれば暑さはさほど厳しくない。さあ、あと五ホール。

十四番はのぼりの三三四メートル、第二打の地点に来てもグリーンが見えない。四オン二パットのダブルボギー、「オーケー、オーケー」オクイさんの機嫌は良い。プロのアジアサーキットのシンガポール・オープンで使われるフキット・コースを横切り、十五番のショートホールへ行く。二〇九メートルあるが、ゆるやかな打ち下ろしでハンディキャップ・インデックス十八と一番易しいホール。ボギーであがった。

十六番、四七二メートルのロングホールは左ドッグレッグで腕に自信のある白人達は左の森をショートカットしたりする。オクイさんは右のこんもりとした木を狙えとい

う。そこへ打つとグリーンは遠くなるが、二打、三打を五番アイアンでフェアウェイキープ、四オン二パットのバーを狙えというのがオクイさんの指示だ。第一打はオクイさんに従ったが、第二打をスプーンで打ちたいと云うと、オクイさんは笑いながらスプーンを差し出した。ボールは左の森に飛び込んだ。オクイさんがヒヒと笑った。結局トリプルボギーにした。もう四十五もたいたい、十八オンバーバーだ。なに、いいさ、今日は練習だ、ゆつくり行こう。

十七番、ロングホールは四〇〇メートルとサーピスホール。「オクイさん、君も打てよ」オクイさんはお気に入りのクリークで弧をつくる。「グッジョー！」オクイさんは「オーケー、私はボギー。日は傾き

黒々とした森が夕焼けの中に浮かび出て美しい。風も涼しい。オクイ坊やの顔は輝き、私の足も軽い。ああ、いいなあ、この景色。この風。

川を越えて打ち上げる一六七メートルの十八番。スプーンで打つ。オクイさんが「ああ、オンした！オノさん、初めてのバーオンだ！」と喜んだ。パットも慎重に沈めバー。終わりよければ全てよし。五十四、十九オンバーバーと合格ラインに二打足りなかったが、オクイさんが、「オノさん、大丈夫、テストは受かるよ。十三番と十六番ホールの第二打を五番で打てば」と云うた。そう、あの二ホールがダブルボギーだったら今日は十三オンバーバー、合格ラインより四打もいい。ハーフラウンドのチップの相場は四ドルだが六ドル渡した。当時の為

オクイさん





Hong Kong's gateway to the
CATHAY PACIFIC
 The Swan Group

SWE COURSE
 MEN

PLAYER

Self

CLUB NO.

COMPETITION

HANDICAP

DATE

1987-7

over par

Hole No.	Length in Meters		Par	H/W Order	Green Score	Stroke Front Points	Hole in One	No. of Hole	Length in Meters		Par	H/W Order	Green Score	Stroke Front Points	Hole in One	No. of Hole	Win - Loss - Halts
	C Tee	B Tee							C Tee	B Tee							
1	180	170	3	15				10	180	170	3	16	3			0	
2	312	302	4	1				11	310	300	4	10	7			3	
3	402	421	5	1				12	394	380	5	12	5			2	
4	180	182	3	12				13	401	401	5	2	12			7	
5	204	207	4	11				14	334	332	4	8	6			2	
6	411	402	5	5				15	209	204	3	10	8			3	
7	445	411	5	3				16	472	462	5	5	6			1	
8	320	322	4	7				17	400	391	5	6	6			1	
9	200	219	4	13				18	142	162	3	14	3			0	
Total	2970							Total	2772	2718	36	OK	54			19	

MARKER'S SIGNATURE

PLAYER'S SIGNATURE

TOTAL LENGTH
 C = CHAMPIONSHIP TEE 5748 METRES
 H = REGULAR TEE 5627 METRES

COURSE RATING 68.7 (68)
 COURSE RATING 68.4 (2)



替レートで七百円だ。
 夕闇の中に溶け込む姿に向かつて「来週の土曜日また回ろう」と声をかけると「ヤー」という元気な声が返ってきた。オクイさんの白い歯が見えた。

* * *

マレイ人の顔は日本人と異なっている。肌は褐色で目は黒くぼつちりしている。男性はハンサムが多いし、女性は愛らしいので、日本からの駐在員がマレイ系の女性と結婚したとか、駐在員夫人がハンサムな赤ちゃんを産んだが肌の色が余りに褐色なので離婚されたとかいう噂が流れたりする。

十三歳のオクイ坊やもなかなか良い顔をしている。大概ニコニコしており、ややこしい計算高い思考によつて顔が歪んだりはしない。怒りの表情はあるが、哀しい表情や疲れた表情は全く見せない。ヒトにおもねるということがないので卑しさのかけらもない。

着ているものは新しくないが水が通つていつも小さざつぱりしている。一度おぼさんが住んでいるというアパートまで車に乗せてやったことがある。そのアパートから察するにひどく貧しい家の子でもないのだらう。ゴム草履を履いていることもあがるが裸足のときも多い。

終戦直後の日本では靴が高価で子供達は下駄や草履を履いていた。よく鼻緒が切れた。雨で道がぬかるむと裸足になつて学校に行つたりもした。そんなことを思い出すと裸足のオクイさんが自分の分身のようにも見えてくる。

分身ともなると、その将来が気になる。学校に行つている様子はなない。たばこは随分小さい頃から吸っているようだし、酒もやる。或る夜、クラブハウスでお客を夕食接待した婦りの事だった。車に乗ろうとしたら、赤い顔をしたオクイさんが暗がりの中から出てきた。

「オノさん、帰るの？」
 「おつ、どうした、こ機嫌だな」
 「ああ、あつちで酒を飲みながらバク子をやつていて」
 「君もやつていたのか」
 「うん、少し勝つた。胴元は三千ドル負けているよ」
 我が分身の世界は乱れている。

キャディーマスターが「オクイはブレイボーイだ」と云う。十三歳の子供をつかまえてブレイボーイでもなからうと思つていたが、長い間つきあつていると、女の子にもてる姿がおぼろげながら見えてくる。他のキャディーがついたときに聞く



と「オクイは凄いな。毎晩女の子を取りかえている」と云う。

こんな小さい頃にはもつと他にやるべき事があるのではないかと思うが、それは北の国に育った銀行員の発想であつて、南国のハンサム坊やにはこれがふさわしい少年時代なのだろう。思えば暗がりの中から出てきた少年のうしろには妖しい気配が満ちていた。近代的な国には感じられない豊かな精気である。オクイさんはそんな精気の中に生きている。

ある時期オクイさんが姿を消したことがある。キャディーマスターに聞くと、どこか外国企業の工場に働いているという。そうか、ついにオクイさんも文明の触手に捕らえられたか。今ごろは月給二百ドルで機械の前に座つて、サーキットプリント板でもいじつているのだな。頭がいいから何年かすれば良いポストを買えるだろう、元気でやれよと折つたが、二ヶ月ほど経つたとこ

ろでまたゴルフ場に戻ってきた。「どうだつた、工場勤めは？」と聞くのと、「つまらない」と顔をしかめてバツグを担いだ。

仕事柄シンガポールの工場を幾つも見ていたので、オクイさんが経験した工場生活は想像がつく。整然とした美しい工場団地、外国へ輸出する製品を作り出す最新の機械、少しでも待遇の良いところを求めて転職する工員、さほど遠くない過去の日本にあつた女工哀史のごとき悲惨さはない。給料から天引きされる積立金を基にいずれは綺麗なアパートが手に入る。日本人よりも確実に速いテンポで物質的豊かさへ近づいていくプログラムがシンガポールにはビルトインされている。

そんなプログラムをオクイさんはあつさり捨てて、裸足でゴルフ場を歩き回っている。工員達が神妙な顔つきで働いているのに比べ、オクイさんは屈託のない顔をしている。いや、彼氏も工場ではこの笑顔をどこかにしまつていたかもしれない。何百年もの準備期間を経て北に住む人間の勤勉さが作つた工場が一方の極だとすると、同じ何百年もの間、南の人間がうまく共存を保つてきた精気あふれる自然界は他方の極である。お互いに長い時間

を背負つた極であるから、それを一

気に混ぜようとしてもた易くないだろう。我が分身に見えたオクイさんは工場から脱出し、俺は南の人間だと誇るが如く生き生きとしている。とはいへ、ジャングルが切り開かれては工場ができ、町ができていく、その度に精気は失われるのであるからオクイさんの抵抗も長続きはしまい。いや、ことによるとこの国のリーダー、賢者リークアンユーは南の精気と北の勤勉をうまく調和させてくれるかも知れない。さすればオクイさんの笑顔は生き残れるか。工場から戻つてきたオクイさんを見てみると、一緒に遊べて嬉しいと思いつつも何かしら心騒ぐ思いがする。

* * *

その日は日曜日だつた。九時にオクイさんに会うと珍しく神妙な顔をして今日はハーフラウンドで失礼するという。イスラム教の割礼の儀式があるらしい。またもや彼氏がわが分身ではないと知つた。宗教の儀式から全く離れた世界で生きている自分である。もつともオクイさんは「割礼の儀式」などという高級な英語を使ったのではなく、指で差して「こいつを切るんだ」と云つ

た。

切るといえば、頭をつるつるに剃り上げて来たことがあつた。それまで耳が隠れるくらいの長髪であつたのが見事な坊主である。形の良い頭だつた。他のキャディーでもこんな頭になることはない。「どうした？」と聞いたが、理由を明らかにしてくれなかつた。何か悪さをした罰だつたのだろうか。いまだに気にかかる。

オクイさんと付き合ひ四年経つた。小柄には変わりないが背も伸び顔つきは精悍になつた。ゴルフの腕は上がり、ワンラウンドを七十七から七十八くらいで回っている。シンガポールオープンにやつて来るグレッグ・ノーマンやテリー・ゲールでも不調の時は八十をたたくコースだと知れば、常時七十台で回るのは大したものだと分かる。それに比べて私は百を切るのが精一杯でオフイシャルハンディも二十五でストツプしている。

テストに受かつた後も何もなければ土曜日の夕方はサイムを回つた。私はオクイさんがたばこを吸ひ、酒を飲み、バクチャや女にいそしむのが気にならなくなつてた。私のゴルフが不調でもオクイさんの腹は痛くならなかつた。ラフに入った私のボールを足で挟んで動かすことも

なくなつた。どうやっても勝てる馬ではないと諦めたのだろう。

私の仕事は順調で毎日が楽しかったが、シンガポール勤務が三年を越える頃からいろいろな変化が起きていた。支店長が交替した。碁の好きな人で、支店長宅に日本からプロ棋士をよんで囲碁大会を開いた。「たまには碁とか将棋で接待して欲しいという人がいないかな」と愚痴をこぼしたのが現実になつたのだが、私は碁よりゴルフの方が好きになつてた。クラブも新調してアイアンはリンクスの最新モデルを、ウッドはドライバーとスプーンをホンマに替えた。パワービルトのクリークは温存した。バッグも大きな皮製のものになつた。

シンガポールの政府職員からの信用も高くなり、シンガポールに永住しろと薦められた。光栄とは思つたがシンガポールに取り込まれているんだなあと複雑な気持ちになつた。

変化はまだある。それまでシンガポール生活を楽しんでいた妻が日本に帰りたいと云いだした。ここでゴルフをする顔にしみができる。云う。新しい支店長夫人がシンガポールに来てすぐに「こんな暑いところには住めない」と日本に帰ってしまったので、取り残された気持ち

になつたのかもしれない。

私のアシスタントが家庭の事情で日本に帰つた。聡明で親切な人だつたのでお客さんから大層好かれていた。彼女が中を守っていたから、私は安心して一日の大半をお客さんと過ごすことができた。彼女がいなくなると、外で仕事をしオフィスに戻る毎日がつまらなく思えた。オフィスで一緒に過ごす時間は短く、ありふれた日々の連続であつたが、そういうことが格別な時間であることもあるのだと知つた。恋とか愛という類の感情があつたわけではない。

そんな変化が続いた頃の事だつた。いつものようにサイムを回つたあとで、オクイさんがおらずと云つた。

「オノさん、来週の水曜日にキャディーのコンペがある」

「君も出るのかい」

「出たいけど」

「けど、どうした」

「実はクラブがない」

「ないって、どうやって練習してるの？」

「キャディーマスターのクラブを代わりばんこで使つて」

「そんな風にして練習しているのか」

「だから、コンペになるとクラブが足りなくなる」

「みんなどうするの？」

「メンバーに頼んで貸してもらつたりする」

「そういうことか」

「オノさん、今度の水曜日だけクラブ貸してもらえないだろうか」

「喜んで貸すよ。今度の週末はビルマに出張するから二週間は来られない。それまで使つていいよ」

「ありがとう。終わったらキャディーマスターの所においておく」

「何人のコンペ？」

「シングルハンディの連中だけのコンペだから三十人くらい」

「オクイさん、こうしよう。もし君がベストファイブに入つたら特別ボーナスを出すよ」

オクイさんは嬉しそうな顔をしてバッグを担いだ。

私はシンガポールを去る日が近いだろうと思ひ、オクイさんに何かプレゼントをしておきたかつた。現金が一番良いと思つたがオクイさんと私は対等の付き合いであり、現金を渡すのは気が差す。しかしコンペ入賞のお祝いならいいだろう。良い考えを思ひ付いたものだと心が弾んだ。

* * *

ビルマから戻つた日、その足でサ

イムにゴルフバッグをとりに行った。翌日オールドコースでゴルフをやることになつてた。キャディーマスターからバッグを受け取り、車に積んでいるとオクイさんが姿を現した。

「オノさん、バッグありがとう」

「やあ、オクイさん、クラブを磨いてくれてありがとう。コンペの成績はどうだつた？」

「八十、ベストテンに入れなかつた」

「たいたねえ。ボーナスは駄目か」

「うん、残念だけど」

私はオクイさんに現金を渡す口実を失ひ、どうしようかと思案した。

「オクイさん、ボーナスの代わりにこれをあげるよ」と云つてバッグからオクイさんが気に入っているパワービルトのクリークを抜いた。オクイさんはびつくりしたような顔をして首を横に振つた。なおも「あげる」と云うとしばらくもじもじしていたが、やがて小さな声で「ありがとう」と云つた。



車に乗りながら「良いゴルフア
になれよ」と云ったその瞬間、私は
オクイさんを心から懐かしいと思
じた。オクイさんの目にも私を懐か
しむような光があった。週明けに出勤
すると支店長に呼ばれ、半年後に
帰国させるからもう少し頑張つて
くれと云われた。

残り少ない時間を楽しもうと思
い、できるだけサイムにでかけた。
しかし、パワービルトのクリークを
進呈したあとのオクイさんを見か
けない。キャディーマスターに聞く
と、騎手になる訓練を受けていると
いう。成る程、体が小さいから競馬
の方がいいかもしれない。もしかす
ると私が「良いゴルフアになれよ」
と云ったので、それを真剣に考え、
ゴルフアとして大成できないとあ
きらめたのだろうか。競馬場に行っ
てみようかと思つたが練習の邪魔に
なるような気もして行かなかつた。
最後にサイムへ行つたのはシンガ
ポールを去る日の二週間前だつた。
オクイさんの姿はなかつた。

* * *

昨年の夏、私は十四年ぶりでシ
ンガポールを訪れた。銀行の支店
長は、私が仕えた支店長の四代あ
とで私の一年後輩だつた。サイムで

のプレイを手配してもらいアシヤリ
さんの車でゴルフ場に行つた。アシ
ヤリさんは全く年をとつていないよ
うに見えた。夢で何度も消えた景
色がそこにあつた。キャディーマス
ターは昔より目がしょぼしょぼして
いたが、他は変わつていない。オクイ
さんのことを聞くと、あれからゴル
フ場には戻つてこないと言つた。競
馬騎手になつたかどうかを聞きた
かつたが、支店長に「小野さん、一
緒に回るひとを紹介しませう」と急か
されその場を離れた。

ホールのひとつひとつが懐かしか
つた。懐かしいというよりも、つい先
週もここを回つていたような気がし
た。

十三番ホールのフェアウェイを歩
きながらつぶやいた。

「この森の色、変わらないなあ」

「さしずめアンリ・ルソーの森です
な」

「おや、君もそう思う？」

「有名ですよ、SICCにはアン
リ・ルソーの森があるつて。小野さ
ん、日本に帰つてから色んな人に云
つたでしょう。いるんですよ、ルソー
の森はどこだつて聞く人。小野さん
のお気に入り、アンリ・ルソーの森
はどこでしたか」

「お気に入りかどうか、魔のホール
だよ。森の中に得体の知れないモノ

がいてね。必ずボールがあつた森に吸
い込まれる。見てご覧」

案の定グリーンを狙つた第三打
は右の森に向かつた。どこに消える
のかと思つて目をこらしている。
木にぶつかつてグリーンまで十メー
トルもない絶好の地点に落ちた。
そこからウェッジを軽く振つた。いい
手応えだと思つて顔をあげると
ボールはピンに向かつて転がつてい
る。カップに届かないだろうと思つ
たのだが、ボールのスピードは落ち
ないでそのままカップインした。茶
店でライムジュースを飲みながら、
支店長がからかうように云つた。
「何です、得体の知れないモノつて？
優しい女神じゃないですか」

「このバーディーは初めてだな。久
しぶりに来たから、今日は森の精
が優しいんだろ」

十六番ホールに来た。ティーショ
ットは右のこんもりとした木を狙つ
ていく。第二打は五番アイアンでフ
ェアウェイに運ぶ。全てオクイさん
の指示通りに打つた。左の森の中に
オクイさんの姿が見えた。木の陰で
薄暗いがかつちを見て笑つているの
が分かる。「やあ」と云つてオクイさ
んの方に歩き出そうとすると、支
店長が「小野さんのボールはフェア
ウェイのいいところにありますよ。
誰です、あの子、知つてるんですか。

ロストボールを探して集めているみ
たいですけど」と云つた。私は「う
ん、昔からここに居る子でね」と云つ
て、もう一度森を見た。どうみても
オクイさんに見えるその少年はこ
ちらに向かつて大きく手を振つた。
私はふいに泣きたい気持ちに襲わ
れたが、軽く手を挙げ自分のポー
ルに向かつて歩き出した。

涼しい風が吹いてきて、大きな
気配が私を包んだ。それは私の周
りを二、三回回るようにして、やが
て静かに消えた。支店長が「ああ、
いいなあ、この景色、この風」とつぶ
やいた。

十八番ホールのバットを終える
と、もうサイムの夢を見ることもな
いだらうと思つた。

(ononmarjan@hotmail.com)



*前回『オクイさん』上のシンガ
ポール・アイランド・カントリー
クラブの略称のSICCがSO
CCに間違つておりましたので、
訂正させていただきます。

本の紹介



◆「旅路の果て、 モンゴメリの庭で」

晩年のモンゴメリと少女の交流を描いたノン・フィクション
メアリー・フランシス・コーデイ著
田中奈津子 訳



この本の帯の文章が、内容を的確に表わしている。「人生の入口で最初の試練を迎えた少女とその出口で苦悩する老婦人との、魂の出会い。」「老婦人」とは、「赤毛のアン」の作者「メアリー・モンゴメリ」。舞台は、彼女の終焉の地トロントの「旅路の果て荘」、そうして世相は第二次大戦の最中であり、モンゴメリが死を迎える直前のお話。主人公の少女ローラは、学校が休み

の間、ロッキーフォールズの田舎から、トロントの祖父の家で過ごすことになる。従軍医師の父は既に英国へ、母は地元の軍需工場に勤める忙しい日々だ。

プリンスエドワード島出身のやさしい祖父は、幼き日のモンゴメリのことを知っている。そうして、祖父の家の向かいに住む老婦人が、まさにその人であると教えてくれる。モンゴメリの作品に親しんでいたローラは、人付き合いを避けて静かに暮らしているというその老婦人と知り合い、しだいに交流を深めていく。モンゴメリの知られざる晩年の私生活が、ローラの目を通して、丁寧に描かれている。

トロント住まいの作家メアリー・フランシス・コーデイは、現在、大学でクリエイティブ・ライティングも教えている。この作品のために、モンゴメリに関する書籍や彼女の日記などを読み、理解を深めた。そのため、本書はノン・フィクションながら、モンゴメリの言葉や行動など、日誌に著されているエピソードがそのまま登場している。事実に基づいたと思われる部分と、コーデイさんの想像の部分とが、微妙に絡みあつた興味深い小説だ。

実際、晩年のモンゴメリは、暗澹たる日々を送っていたという。病気の夫の世話にあぐら、息子が兵役を課されるのではという危惧に加えて、自らの体力の衰えから執筆する意欲さへ失つ

ていた。そんな時、若々しい光りをもたらすローラのような少女が身近に現れていたら！

作家モンゴメリは、お気に入りの自作「ストーリー・ガール」のなかで、主人公にこう言わせている。「私、本当のことつて二通りあると思うわ。本当にあつた本当のことと、本当にはなかつた

◆「映画で読む二十世紀」

この百年の話

田中直毅
長田弘



二十世紀の社会の変容を十三本の映画のスクリーンを通してみたこの百年の歴史。

「わが谷は緑なりき」はウエルズの炭鉱を見舞った世紀初頭の近代化、「ジヤイアンツ」はテキサスの石油ブーム、「東京物語」は高度成長前の社会の変化、「ディアハンター」はベトナム戦争と故郷喪失…、経済評論家の田中直毅と詩人の長田弘の対談は息がびったり

けれど、あつてもよかつた本当のことと。」

コーデイさんのノン・フィクション「旅路の果て、モンゴメリの庭で」は、「あつてもよかつた本当のこと」なのかもしれない。

(梶原由佳) (講談社)
ISBN4062104458 千五百円(税)

合い、時代環境の流れの中での人間の営みを広い視野から掘り下げているので、映画を語りながらも映画を超えたものになつている。この本の狙いもそこにあるようだ。

二十世紀という時代の壁は、一九八九年ベルリンの壁が崩壊してから一気に崩れた。その後にもたらされたものは、時代の瓦礫と瓦礫の上の空のひろがり…と長田氏は云う。その空の下には、「ハドソン河のモスクワ」のマンハッタンに亡命したロシアのサーカスのサククス奏者や「ジャーニー・オブ・ホープ」のスイスに密入国を企てるトルコ人家族のように故国を捨て、希望とよりよい生活だけを頼りに瓦礫の上をさまよい出した難民、流民たちがいる。二十一世紀のシングル・ヒューマンビイングの希望の行方には何があるのだろうか。(K・H)

(朝日新聞社 六六〇円+税)
ISBN4022462394 C0174)

編集室から



★ Like a father, like a son と云うが、親子はそっくりどころか、まるつきり違う、というのがQさんの意見である。似るとすれば身体的特徴だけで、性格や才能は全く違う。時代や環境が違うから当然であろう。遺伝因子はどういうふうになっているのだろうか。

兄弟だってまるきり違う、うちの娘二人は、食べ物の嗜好も全然違うし、洋服の好みも違う。上の子は洋風嗜好、ベビーシッターがフレンチ・カナディアンだったので、幼い時スーブやシチューをよく食べたからであろう。下の子は和風嗜好で餅や味噌汁、梅干し、タクワンが大好物。

親子だってそうだ。僕の親父は乗馬、謡曲、尺八をたしなんだが、その中でもものになったのは謡曲だけだ。

僕はそのどれにも関心がない。やっぱり親子は違う。だから、人格が全然違うのだから、我が子でも別個の人格として距離を置いてみる必要がある。そう思っつて子供達に接している。(Y)

☆私の周辺にはいろんなものが見えたり、聴こえたりする人がいる。GさんはCEOを最近自宅の窓から見たそう。Gさんだけでない、Gさんの奥さんも見えたそうだから、本当である。

別のGさんは二、三年前、日本の家族を夏休みにカナダに招いた。その時亡くなったお父さんも一緒にいらつしやうたそうである。そのことを聞いた私達は、怖いとか気味悪いというのでなく、大変いい話を聞いた

気持ちがして祝福したものである。

★レイアウトの最後の仕上げの時に、邪魔にならない音楽をと思っつて、いささか古いフリオ・イグレシアスのCDをかけたところ、「背中がぞくぞくする、止めてくれませんか、その歌！」と、Yさんが云った。

数年前、話のタネに彼のコンサートに友人と出かけたことがあるが、まるで杉良太郎のショーに紛れ込んだような異様な熱気の雰囲気であつくりした事を思い出した。「翌日のグループ&メール紙に、その評が載つて、トロント中のノーブレインが××ホールに押し掛けられたつて、岡焼き半分を書いてあつた」と、話すと、「岡焼きつて何ですか？ ドラ焼きのことを関東では岡焼きというのでしょうか？」と関西人を自認するYさん。

「ドラ焼きはドラ焼きですよ。関東でも、全国的にドラ焼きでしよう？ 岡焼きはヤキモチのことです。」
「へー、そんな言葉初めて知つた」
ちなみに国語辞典を引くと、岡というのは傍らという意味で、岡焼きとは全然関係のない第三者がヤキモチをやくこと、と出ていた。

時代が変われば言葉も変わる。弱肉強食が焼肉定食になる時代だから、岡焼きがドラ焼きなつてもおかしがることはないのかも知れないが、でも、ドラ焼き半分、とは云わないんじゃないかな？ (H)

☆ Email address が次のように変わりました。 jugemu@attglobal.net

冬、おいしい、なべもの



JAPANESE FOODS & GIFT SHOP
SANKO

730 QUEEN ST. W. TORONTO

TEL (416) 703-4550 / FAX (416) 703-8593

<http://www.toronto-sanko.com>

オーロラ購読申込み用紙

年4回発行 年間購読料16ドル(カナダ国内送料GST込み) 米国16米ドル
小切手を添えて郵送でお申し込み下さい。

ネーム _____

アドレス _____

郵便番号 _____

オーロラ

(代表・平塚かずよ)



SHISEIDO

BEAUTY INSTITUTE



資生堂125年の歴史を展示するギャラリー
(ビューティ・インスティテュートの内部)

SHISEIDO BEAUTY INSTITUTE では、毎日、スキンケア・メーキャップなどの各種美容講座を開講しています。

カナダの皆様にも、資生堂化粧品をもっと知っていただきたい、という願いを込めて、講座へのご参加は完全無料、会場での商品の販売も一切ありません。

なお、座席数に限りがありますので、事前にお電話にてご予約下さい。

住所： 1 Dundas Street W., Suite 2405
Toronto, ON M5G 1Z3

電話： 416-408-3700 (英語)

または、SHISEIDO CANADA (本社)

電話： 905-763-1250 (日本人スタッフ常駐) まで、お気軽にどうぞ

ショーフレックスのお客様はすべて

V. I. P.

大・小バス / ミニバン / ストレッチリムジン
セダンなど... すべて日本語のガイドまたは
ドライバーがご案内いたします。



●空港ご送迎・ナイアガラ観光は快適なリムジンで。

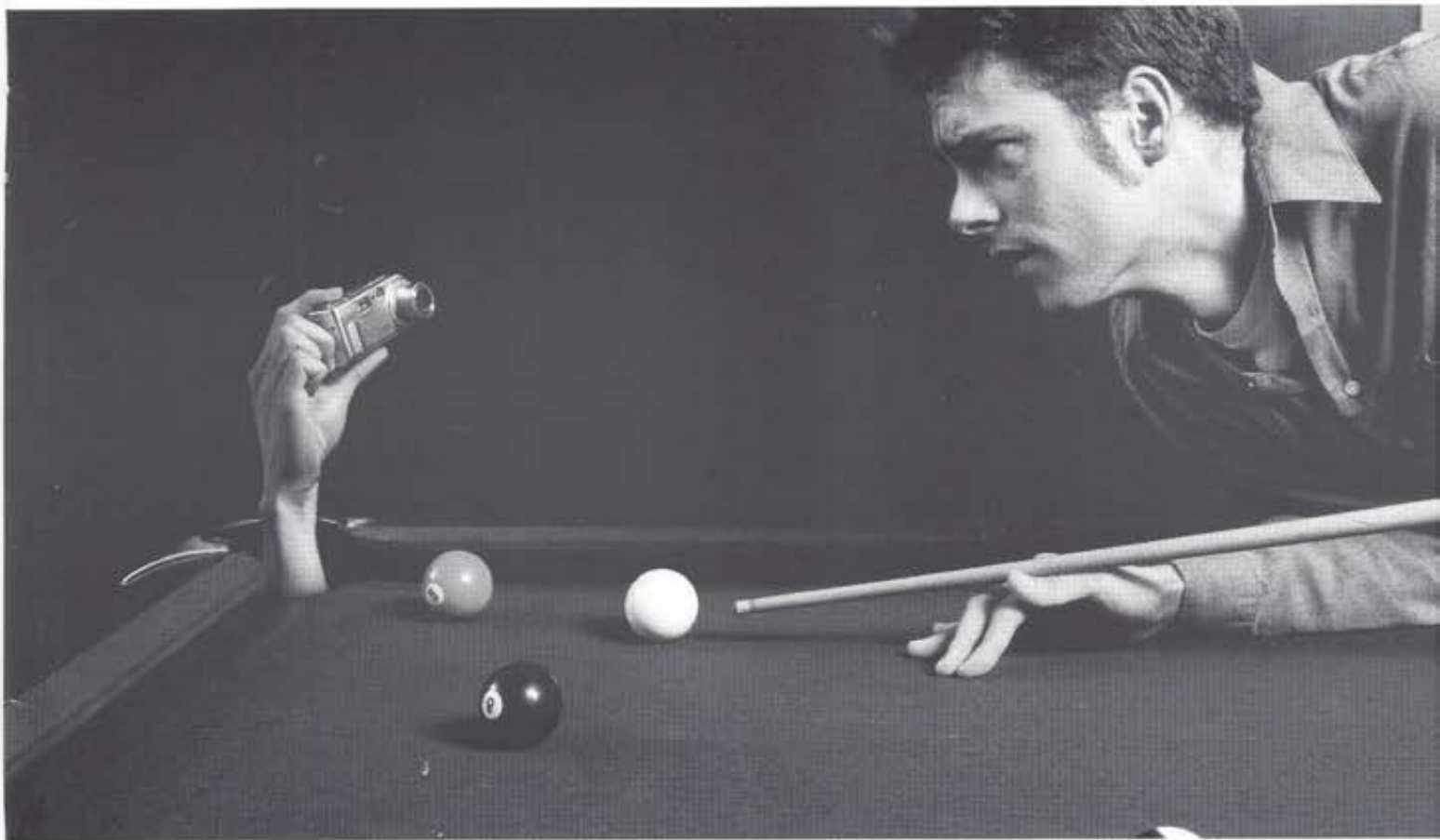
●テクニカルビジット・通訳 その他もアレンジいたします。

Show Flex International Inc.

315 Adelaide St. W., Toronto ON M5V 1P8

Tel:(416)977-6849 Fax:(416)977- 7250

The Sony Cyber-shot. This could be fun.



Introducing the Sony Cyber-shot® DSC-P1 digital still camera. It's one of the smallest (113mm x 53.9mm x 43.8 mm) and lightest (208g) cameras in its class, which means you can get shots just about anywhere. It captures high-resolution images up to 3.3 mega pixels and stores them on a Memory Stick®, which is a simple way of saying the images you can store and send to your computer will look

spectacular. Also, our new Clip Motion feature allows you to combine 10 pictures into an animated file for e-mailing. You can even make an MPEG movie up to 42 minutes long. Add in the Stamina® InfoLITHIUM™ battery, which lets you take up to 1,700 pictures per charge and its 6X Digital Precision Zoom lens and you begin to get an idea of just how fun this camera could be in the right hands. Like, say, yours.® **SONY.**



Cyber-shot



www.sonymstyle.co

Purchase a Sony Cyber-shot digital still camera now and save up to \$50 on selected optional video accessories with a mail-in rebate. See coupon for details. Only valid on the purchase of one of the following selected digital still cameras: DSC-S30, DSC-S50, DSC-S70, DSC-F505V, DSC-P1, MVC-FD85, MVC-FD90, MVC-FD95. ©2004 Sony. Cyber-shot, Sony Style, Memory Stick, Stamina and InfoLITHIUM are trademarks of Sony Corporation.